

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**社会福祉運営事業**

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 社会福祉事業の円滑な執行を支援するため。

効果 社会福祉の増進に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・ 社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器賃借料や保守に係る経費を執行した。
- ・ 社会福祉法人の設立、定款変更等の認可事務を行った。
- ・ 社会福祉法人の指導監査等を実施した。
- ・ ポスターコンテストや講演会など、社会を明るくする運動事業を保護司会とともに行った。
- ・ 生活困窮者等に食料支援を行うフードバンク事業者に対して協力金を支払った。
- ・ 更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。
- ・ (仮称)お役所事務減らす会議を運営した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
45,600	42,447	39,511		2,936
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金		3,056	0
8節	(仮称)お役所事務減らす会議外部委員等報償費		184	0
11節	福祉総合システム等消耗品費		646	598
13節	福祉総合システムソフトウェア保守委託料		8,476	8,476
	社会福祉法人監査支援業務委託料		1,404	1,123
	緊急援護貸付事業委託料		380	380
	番号制度対応福祉総合システム改修委託料		3,027	3,027
	福祉総合システム改元対応委託料		6,464	4,104
14節	福祉総合システム機器賃借料		21,268	21,267
19節	フードバンク協力金		515	356
	保護司会補助金		180	180

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**社会福祉協議会支援事業**

【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 社会福祉協議会の財政基盤を安定させることにより、地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。
- ・ 平成30年7月豪雨による被災地での市民等によるボランティア活動に対し、社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会が実施した助成に対して、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,345	49,510	49,495		15

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市社会福祉協議会補助金

49,345 49,345

平成30年7月豪雨ボランティア活動支援事業補助金

0 150

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**民生委員児童委員活動推進事業**

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,146	39,146	38,289		857
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	民生総務嘱託員報酬 20人		3,672	3,672
	民生嘱託員報酬 200人		30,111	29,557
	民生委員推薦会報酬 4人		126	84
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,065
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		303	95
19節	民生委員・児童委員協議会補助金		2,817	2,816
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			14,403

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**戦傷病者戦没者遺族等援護事業**

【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民

意図 戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・ 鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・ 本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。
- ・ 戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,017	3,811	3,621		190
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	戦没者追悼式参列者記念品等		190	189
11節	消耗品費		42	34
	印刷製本費		11	9
12節	筆耕翻訳料		3	2
13節	戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料		60	60
	戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料		238	238
19節	鎌倉市遺族会補助金		158	158
	鎌倉市被爆者の会補助金		75	75
20節	被爆者援護手当 123人		3,240	2,856
<主な特定財源>				
	・国県支出金			60

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 行旅病人の援護については、実施がなかった。
- ・ 行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等については、実施がなかった。
- ・ 「墓地、埋葬等に関する法律」第9条の規定に基づき、引き取り手のない遺体の取扱いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,716	1,998	1,962		36

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
8節	行旅死亡人遺骨保管謝礼	90	90
12節	行旅死亡人官報公告掲載料	36	0
13節	行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料	530	0
	墓地埋葬法による遺体取扱委託料	1,060	1,872

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

中国残留邦人等支援事業	【 生活福祉課 】
-------------	-----------

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【 事業の内容 】

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない者などがいなかったため、生活支援給付金を支給しなかった。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
				当初予算額
				支出済額
20節 生活支援扶助費			10	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**生活困窮者自立支援事業**

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民

意図 自立の促進を図るため。

効果 相談及び住居確保給付金の支援を受けることにより、自立を目指すことができる。

【 事業の内容 】

- ・就労の支援その他の自立に関する問題について、対象者に対する支援計画を作成し、必要な情報の提供及び助言を行った。
- ・再就職のため必要と認められる者に対し、住居確保給付金を支給した。
- ・生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象とし、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会の提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,948	21,969	21,674		295
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費			72 72
13節	生活困窮者自立相談支援事業委託料			10,330 10,352
	学習支援事業委託料			11,146 11,045
20節	住居確保給付金			400 205
<主な特定財源>				
・国県支出金				13,681

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**共生社会推進事業**

【 地域共生課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 共生社会の構築に向けた施策を推進するため。

効果 社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民がいきいきと楽しく暮らすことのできる共生社会を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市共生社会の実現を目指す条例を制定した。
- ・ 共生社会に関する講演会等を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
962	962	839		123
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	(仮称)かまくら共生条例策定検討委員報償費		612	540
	講演会講師等謝礼		100	105
9節	普通旅費		200	120
11節	消耗品費		50	50
14節	講演会会場使用料		0	24



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**国保組合支援事業**

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人当たりに70円を補助金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66	66	64		2
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 県建設連合国保組合補助金				41 39
県建設業国保組合補助金				25 25

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**国民健康保険事業特別会計繰出金**

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

- ・国民健康保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,833,048	1,707,682	1,707,679		3

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額	支出済額
1,833,048	1,707,679

<主な特定財源>

・国県支出金

487,788

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**介護保険事業特別会計繰出金**

【 高齢者いきいき課 】

【 事業の内容 】

・ 介護保険事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,450,400	2,423,842	2,423,842		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
28節	繰出金	2,450,400	2,423,842

<主な特定財源>

・ 国県支出金

21,171

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎市民自治 ○市民自治

**地域福祉推進事業**

【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 市民自治

施策の方針 市民自治

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 地域福祉団体、地域住民の生活課題に対する取組への支援等を行うべく、事業を検討したが実施までには至らなかった。
- ・ 地域住民による地域課題の把握と課題解決への取組を進めるため、地域アセスメント活動を中心とした地域福祉推進活動への支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,817	4,767	3,417		1,350
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節 地域福祉推進事業委託料			5,400	0
19節 地域福祉推進活動支援補助金			3,417	3,417

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 5 社会福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**職員給与費**

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・地域共生課・生活福祉課(援護担当)・

高齢者いきいき課(いきいき福祉担当)・障害福祉課・保険年金課(年金担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	451,551	457,648
・ 2節 給料 一般職	208,650	211,728
一般職職員 58人		
短時間勤務職員 4人		
・ 3節 職員手当等	166,010	168,055
扶養手当	4,905	4,205
地域手当	33,158	33,650
通勤手当	5,114	5,732
超過勤務手当	13,140	14,447
休日給	79	143
管理職手当	7,470	8,209
特殊勤務手当	767	414
期末勤勉手当	92,301	91,518
住居手当	7,431	8,599
管理職員特別勤務手当	0	83
児童手当	1,645	1,055
・ 4節 共済費	76,891	77,865
市町村職員共済組合負担金	73,469	74,675
社会保険料	3,231	2,914
雇用保険料	191	276

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 10 社会福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**福祉センター管理運営事業**

【 福祉総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【 事業の内容 】

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
53,907	52,777	51,573		1,204
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		630	629
	燃料費		5	0
	光熱水費		11,738	9,808
	維持修繕料		16,716	16,702
12節	電信料		116	101
	熱源機器保守点検手数料		935	934
	昇降機保守点検手数料		687	687
	受水槽法定点検等手数料		1,073	1,070
13節	総合管理業務委託料		19,181	19,181
	警備業務委託料		91	91
	自動ドア保守点検委託料		192	192
	電話設備保守点検委託料		127	100
	樹木伐採業務委託料		967	883
	受変電設備清掃業務委託料		43	43
	敷地内植栽維持管理業務委託料		146	146
	調理室レンジフード等清掃業務委託料		203	99
18節	壁掛型エアコン等備品購入費		1,057	907

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者福祉運営事業**

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者福祉計画等の進行管理を行った。
- ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
- ・ 在宅の障害者の日中活動の場の確保、障害の特性に応じた作業の場の提供及び地域社会との交流の促進により障害者の自立を支援する地域活動支援センター事業を実施した。
- ・ 基幹相談支援センター事業や成年後見センター事業を実施した。
- ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援や障害者団体等への支援を行った。
- ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
267,139	262,191	253,145		9,046
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	総合相談窓口等非常勤嘱託員報酬 10人		10,584	8,766
	総合支援法審査会委員報酬 15人		3,936	3,484
	障害支援区分認定調査員報酬 3人		4,752	4,752
	障害者福祉計画推進委員会委員報酬 12人		366	204
7節	給付費等事務補助臨時的任用職員賃金		1,668	1,338
8節	障害者施設訪問歯科検診報償費		903	903
	障害福祉相談員等報償費		700	252
9節	総合相談窓口等非常勤嘱託員費用弁償		1,498	437
	障害支援区分認定調査員等費用弁償		775	353
11節	消耗品費		725	606
	備品修繕料		22	0
12節	電信料		71	68
	自立支援給付医師意見書作成手数料		2,126	1,829
	給付費支払システム運営手数料		4,370	4,384
	成年後見市長申立手数料		149	7
	手話通訳者等保険料		88	34
13節	障害者福祉計画点字版等作成委託料		670	545
	障害者相談支援事業運営委託料		8,287	8,287
	障害者地域活動支援センター運営事業委託料 11ヶ所		196,720	193,864
	成年後見センター運営業務委託料		3,780	3,780

	精神保健福祉相談・障害者虐待防止対策支援事業等委託料	4,950	15
	基幹相談支援センター運営委託料	15,435	14,860
14節	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	778	778
18節	自立支援医療事務用備品購入費	184	0
19節	失語症成人言語障害者支援事業等負担金	509	509
	成年後見制度利用支援事業補助金	1,058	1,055
	余暇活動支援事業補助金	1,000	1,000
	鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	147	147
	鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	147	147
	青い麦の会事業運営費補助金	128	128
	鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	231	231
	鎌倉市腎友会補助金	40	40
	神奈川県障害者スポーツ振興協議会運営費補助金	30	30
20節	外国籍等障害者福祉給付金	312	312

<主な特定財源>

	・国県支出金		60,077
--	--------	--	--------



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者生活支援事業**

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等の生活安定及び福祉の向上を図り、必要な生活支援を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等及び福祉手当を対象者に給付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
152,261	152,261	143,270		8,991

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
20節	施設等通所者交通費助成費	40,765	39,988
	特別障害者手当等	41,464	38,144
	福祉手当	70,032	65,138

福祉手当

国制度	月 額				人員	総額	国庫
	障害児福祉手当及び経過措置分福祉手当		特別障害者手当				
	2~3月分	4~1月分	2~3月分	4~1月分			
	14,580円	14,650円	26,810円	26,940円	延1,632人	38,144千円	28,608千円
市制度	福 祉 手 当				人員	総額	国庫
	2,000円						

<主な特定財源>

・国県支出金

28,775

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者福祉サービス事業** 【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 障害者等に必要な障害福祉サービスを提供し、日常生活及び社会生活を総合的に支援し、安心して生活を送ることができるようにするため。

効果 障害者等の日常生活の利便性の向上と、安心して社会生活を送ることができる体制の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者が障害福祉サービスを利用した場合に介護給付費の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ 自宅の浴槽での入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ グループホーム入居者へ家賃の助成を行った。
- ・ 障害者総合支援法の補装具給付費支給対象外の軽・中等度の難聴の児童に対し、補聴器購入費の一部の助成を行った。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,639,045	2,639,052	2,565,592		73,460
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	特別障害者手当認定審査嘱託医報酬 2人		319	212
12節	更生医療審査等手数料		67	73
13節	身体障害者訪問入浴サービス事業委託料		5,500	3,872
	虐待防止緊急一時保護事業等委託料		1,051	173
19節	在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金		9,623	11,676
	地域生活サポート事業補助金		6,325	6,209
	グループホーム設置費補助金		1,500	1,500
	グループホーム家賃助成補助金		11,680	9,584
	短期入所拠点事業所配置事業補助金		2,064	2,064
	重度障害者住宅設備改造費補助金		4,800	2,404
	軽・中等度難聴児補聴器購入助成事業補助金		911	1,243
20節	障害福祉サービス費等		1,881,814	1,829,308
	相談支援給付費等		53,650	48,821
	自立支援医療等給付費		75,073	87,540
	補装具給付費		38,700	33,550
	高額障害福祉サービス等給付費		646	888
	障害児通所給付費等		398,360	374,893
	障害児相談支援給付費等		10,991	10,393
	移動支援等給付費		81,769	79,009
	日常生活用具給付費		34,328	41,575

障害福祉サービス利用助成費	569	361
身体障害短期入所法外扶助費	900	718
県単独短期入所加算	9,949	10,698
グループホーム法外扶助費	870	870
グループホーム等運営費補助事業給付費	7,586	7,958

重度障害者住宅設備改造費補助金  
助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良箇所重複あり)						5件
浴室	便所	台所	玄関	廊下	その他	
2カ所	2カ所	0カ所	1カ所	3カ所	5カ所	
県費						1,201千円

日常生活用具給付費  
品目別給付状況

電気式たん吸引器	7件	聴覚障害者用通信装置	0件
拡大読書器	3件	ストマ用器具	3,788件
介護用ベッド	2件	その他	491件
入浴補助具	2件	合計	4,293件

身体障害児者補装具交付事業  
補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況

区分	交 付			修 理		
	件数	公費負担	自己負担額扶助	件数	公費負担	自己負担額扶助
義肢	7件	3,813千円	61千円	5件	653千円	21千円
装具	100件	8,129千円	761千円	52件	817千円	54千円
補聴器	77件	4,333千円	349千円	28件	394千円	54千円
車いす	18件	4,930千円	588千円	45件	2,819千円	69千円
その他	53件	5,195千円	449千円	4件	57千円	3千円
合計	255件	26,400千円	2,208千円	134件	4,740千円	201千円
国庫					15,570千円	
県費					7,518千円	

更生医療給付費  
給付利用者の状況

じん臓機能障害	肢体不自由	その他	合計
86人	0人	23人	109人

自立支援給付支給事業

障害者福祉サービス給付費等

地域生活支援事業	日中一時支援	31件	152,436円
	移動支援	3,122件	78,856,294円
居宅介護(身体・知的・児童・精神)		2,799件	168,126,490円
重度訪問介護	10件	364,200円	
行動援護	424件	19,987,836円	
同行援護	429件	19,108,581円	
療養介護	181件	46,917,620円	
生活介護	4,420件	916,152,595円	
短期入所(身体・知的・児童)		1,363件	93,699,019円
県単独短期入所加算		643件	10,697,600円
施設入所支援		1,352件	202,917,164円
(施設入所補足給付)		-	27,762,701円
共同生活援助		1,494件	305,612,375円
自立訓練		355件	28,915,251円
計画相談支援		2,766件	46,209,769円
地域移行支援		9件	454,039円
地域定着支援		0件	0円
障害児給付費等			
障害児相談支援		595件	10,393,048円
児童発達支援		949件	100,734,354円
放課後等デイサービス		5,224件	273,770,740円
保育所等訪問支援		16件	387,515円
合計		26,182件	2,351,219,627円
国庫			1,154,355千円
県費			582,525千円

<主な特定財源>

・国庫支出金

1,858,359

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者社会参加促進事業**

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週5日、半日、障害福祉課窓口配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、中級、上級講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方を対象とした自動車運転訓練費の助成は、対象者がいなかった。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。
- ・聴覚障害者に対する緊急時の通報手段として、本庁舎福祉側入口に聴覚障害者用緊急通報装置(パトランプ、電光掲示板)を設置した。
- ・視覚障害者に対する来庁時の誘導手段として、本庁舎福祉側入口に音声案内装置を設置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,243	51,272	44,078		7,194
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	手話通訳嘱託員報酬 3人		1,267	1,091
8節	手話通訳者等派遣等報償費		2,143	2,177
9節	手話通訳嘱託員費用弁償		254	119
11節	消耗品費		491	382
	福祉タクシー券等印刷製本費		271	243
	緊急通報装置維持修繕料		100	0
12節	福祉タクシー券等事務手数料		1,148	988
13節	手話講習会開催等委託料		1,619	1,647
	聴覚障害者用緊急通報装置(パトランプ)設置委託料		354	0
	聴覚障害者用緊急通報装置(電光掲示板)設置委託料		3,014	0
	聴覚障害者用緊急通報装置設置委託料		0	3,153
18節	音声案内装置備品購入費		287	229
19節	障害者ふれあいフェスティバル開催負担金		330	268
20節	身体障害者自動車改造費助成費		200	380
	身体障害者自動車運転訓練費助成費		100	0
	福祉タクシー利用料金等助成費		39,665	33,401

福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況

券 種 類	交 付 者 数	利 用 枚 数	執 行 額
タ ク シ ー 利 用 券	1,326人	延 40,393枚	20,258千円
自 動 車 燃 料 費 助 成 券	814人	延 8,699枚	13,048千円
福 祉 有 償 運 送 利 用 券	14人	延 317枚	95千円
合 計	2,154人	延 49,409枚	33,401千円

<主な特定財源>

・国県支出金

2,733

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者就労支援事業**

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場が確保される。

【 事業の内容 】

- ・ 障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・ 雇用の促進と就労の安定化を図るため、就労後の定着支援事業を行った。
- ・ 就労支援のための訓練等給付費を支給し、家賃助成を行った。
- ・ 庁内で就労経験を積み、企業等への就労を目指す障害者に対して、就労支援を行うワークステーションかまくらを開設し、運営した。
- ・ 働きたい障害者と障害者を雇用したい事業所を支援する障害者二千人雇用センターを開設し、運営するとともに、障害者就職面接会等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
541,338	533,857	509,150		24,707
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	就労支援嘱託員報酬		6,048	0
	ワークステーション事務嘱託員報酬 7人		5,292	5,071
	障害者就業支援嘱託員報酬 2人		4,234	3,940
7節	臨時的任用職員賃金		2,944	208
8節	障害者雇用奨励金		7,500	4,827
	障害者就労移行支援金		1,500	400
	障害者二千人雇用推進協議会報償費		510	52
	雇用促進対策事業等報償費		1,053	702
9節	ワークステーション事務嘱託員費用弁償		936	346
	障害者就業支援嘱託員費用弁償		904	280
	普通旅費		200	7
11節	消耗品費		779	826
	印刷製本費		250	158
13節	障害者就労後定着支援事業委託料		2,500	2,500
	障害者二千人雇用センター運営委託料		19,500	20,303
	就職面接会看板作成委託料		150	0
	就職面接会会場設営委託料		0	97
14節	就職面接会会場使用料		0	19
18節	昇降式作業台備品購入費		344	0
19節	障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金		10,800	10,800
20節	就労移行支援給付費		87,804	98,702
	就労継続支援給付費		388,090	359,912

<主な特定財源>  
・国県支出金

350,832



発達支援事業

発達支援室

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童等

意図 ライフステージに応じて、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【 事業の内容 】

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児童等の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,984	44,256	41,452		2,804
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	発達支援嘱託員報酬			
	理学療法士 2人		4,900	4,900
	言語聴覚士 4人		9,800	9,775
	心理士 4人		8,575	8,379
	児童指導員 1人		1,080	1,037
	作業療法士 1人		2,450	2,327
	嘱託医報酬			
	小児神経科医師 1人		791	791
	整形外科医師 1人		791	791
	リハビリテーション医師 1人		1,582	1,516
	発達支援委員会委員報酬 6人		248	194
	相談支援嘱託員報酬 4人		2,288	2,288
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,058	0
8節	講演会等講師謝礼		100	90
	発達支援システム推進協議会委員謝礼		176	72
	講演会保育ボランティア謝礼		9	2
9節	発達支援委員会委員費用弁償		20	1
	相談支援嘱託員等費用弁償		659	274
11節	消耗品費		391	390
	燃料費		82	61
	車両修繕料		140	67
	医薬材料費		3	3
12節	電信料		48	36
	アップライトピアノ調律手数料		12	0
	普通傷害保険料		359	359
14節	オーディオメーター等賃借料		575	474
19節	市民活動団体と市による相互提案協働事業負担金		300	300

特別支援保育運営費補助金	10,540	7,318
27節 自動車重量税	7	7

<主な特定財源>

・国庫支出金	2,828
--------	-------

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	244人
	言語聴覚相談	100人
	リハビリ相談	64人
発達支援指導	発達指導	60人(延374人)
	心理指導	2人(延4人)
	言語聴覚指導	98人(延1,177人)
	リハビリ指導	52人(延682人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	53回(延176人)
	言語聴覚相談	36回(延76人)
	リハビリ相談	29回(延79人)
母子グループ指導	36人(延80人)	
障害児相談支援事業	障害児支援利用援助	239人(延412人)
	継続障害児支援利用援助	28人(延115人)

公有財産の貸付

(障害児活動支援センター:深沢こどもセンター内)

(障害児通所支援施設:由比ガ浜こどもセンター内)

事業名	実施状況	
障害児活動支援センター (放課後等デイサービス)	開所日数	291日
	登録者数	99人
	延利用者数	3,064人
障害児活動支援センター (余暇支援)	開所日数	291日
	契約者数	5人
	延利用児童数	52人
障害児通所支援施設 (児童発達支援)	開所日数	223日
	登録者数	24人
	延利用者数	1,188人
障害児通所支援施設 (放課後等デイサービス)	開所日数	292日
	契約者数	33人
	延利用児童数	1,284人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	9園	33人

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者医療助成事業**

【 障害福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1～2級を持つ障害者等(所得制限あり・65歳以上新規障害除外)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
665,277	665,270	593,324		71,946

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	1,034	1,019
11節	医療助成事務用消耗品費	68	68
	受診証等印刷製本費	132	26
12節	審査支払手数料	8,700	8,144
20節	医療扶助費	655,343	584,067

	助成件数	月平均対象者
一般保険分	85,773件	2,825人
後期高齢者医療分	50,582件	1,424人

<主な特定財源>

・国県支出金

128,504

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 15 障害者福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**発達支援サポートシステム推進事業**

【 発達支援室 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 発達に課題を持つ子どもの保護者及び支援者等

意図 発達に課題を持つ子どもが適切な支援を受けることができるよう、発達障害などの理解及び対応のスキルアップを図るため。

効果 療育と教育の連携を強化し、地域における幼児期から学齢期までライフステージに応じた継続した支援を行うことで鎌倉市子ども・子育てきらきらプランの主要施策「障害のある子どもと家庭への支援」の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・発達支援に関する情報共有と支援技術の向上を目指すサポーター養成講座を体系的に開催した。
- ・発達支援委員会等と連携し、保育現場や学校現場における講座受講者の人材活用を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
470	470	470		0

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 サポーター養成講座講師謝礼	420	420
11節 サポーター養成講座用消耗品費	50	50

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 20 障害者施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**障害者施設管理運営事業**

【 障害福祉課・発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 知的障害者、障害児等

意図 知的障害者の日常生活上の支援及び生活能力向上のために必要な支援、並びに就労に必要な支援及び訓練に関する業務を支援するため。

障害児等に通所支援事業及び余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。

障害児通所支援事業等を行う施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉はまなみの効率的かつ効果的な運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。
- ・ 障害児通所支援事業等を行う施設の光熱水費を支払った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,030	35,030	33,753		1,277
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	障害児通所支援事業等施設光熱水費		1,369	739
	鎌倉はまなみ等設備維持修繕料		4,180	3,603
13節	鎌倉はまなみ指定管理料		29,411	29,411
19節	鎌倉はまなみリスク分担金		70	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者福祉運営事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。
- ・ 福祉有償運送事業に関する事務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
763	763	457		306
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	高齢者保健福祉計画推進委員会委員報酬 12人		528	224
11節	福祉有償運送協議会等消耗品費		11	10
	高齢者保健福祉計画印刷製本費		224	223

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者施設福祉事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・ 特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・ 養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
91,084	91,084	81,876		9,208
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	高齢者措置判定委員会委員報酬 5人		104	84
14節	特別養護老人ホーム(鎌倉プライエムきしろ)土地賃借料		2,093	2,093
20節	施設入所者措置費 40人		88,887	79,699

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者在宅福祉事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者に対し、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 救急活動時に速やかに医療機関へ受け渡しができる救急情報シートの配布を行った。
- ・ 一人暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸出しを行った。
- ・ 寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・ 成年後見制度に関する相談、普及啓発、市民後見人活動支援等を行った。
- ・ 市民後見人の養成を行った。
- ・ 低所得の高齢者に対し、成年後見申立に係る費用の一部助成を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,585	22,219	20,456		1,763
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	高齢者・障害者ネットワークミーティング講師報酬 1人	30	0	
	市民後見人活動推進のための検討会委員報酬 5人	408	0	
8節	市民後見人活動推進のための検討会委員謝礼	0	42	
11節	消耗品費	39	38	
	印刷製本費	1,585	1,143	
	医薬材料費	11	10	
12節	成年後見市長申立手数料	246	178	
13節	緊急通報システム事業委託料	18,366	15,219	
	訪問理美容サービス事業委託料	70	46	
	成年後見センター運営業務委託料	3,780	3,780	
19節	成年後見制度利用支援補助金	50	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			42



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者生活支援事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【 事業の内容 】

- ・ 第2号被保険者のうち、要介護3～5の認定者または、要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつを支給した。
- ・ 養成講座を受講したサポーターが高齢者を定期的・継続的に支援した。また、サポーターの養成及び利用希望者とのマッチングを行った。
- ・ 社会福祉法人が運営する施設等の利用者で生活が困難な方に対し、利用者負担分を軽減する事業は、社会福祉法人の軽減額が補助対象額に達しなかったため、補助を行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,946	5,946	5,670		276
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	紙おむつ支給事業委託料		336	80
	高齢者生活支援サポートセンター事業委託料		5,590	5,590
19節	社会福祉法人利用者負担額軽減制度事業補助金		20	0

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者施設整備事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 健康の増進や教養の向上と、入所待機者の解消を図るため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公募により介護保険施設等の整備事業者を選定した。
- ・ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の施設整備に係る補助金を交付した。
- ・ 認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)の開設準備に係る補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,834	32,222	31,484		738
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				当初予算額 支出済額
1節	介護保険施設等整備事業者選定委員会委員報酬 5人		156	84
19節	特別養護老人ホーム整備費補助金		8,500	17,000
	施設開設準備経費等支援事業費補助金		11,178	14,400
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			14,400

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者活動運営事業** 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者

意図 高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援し、福祉の向上を図るため。

効果 高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

【 事業の内容 】

- ・長寿のお祝いとして100歳以上及び節目の年齢を迎えた高齢者に対し、祝品を贈った。
- ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人高齢者への給付金は、対象者がいなかったため、支給しなかった。
- ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。
- ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,476	34,225	31,590		2,635
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,059	
7節	臨時的任用職員賃金	219	86	
8節	敬老祝品 100歳以上142人 88歳948人	3,384	1,152	
	施設訪問用花束 12施設	36	36	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	96	
11節	消耗品費	57	57	
	印刷製本費	1,105	561	
12節	祝い状筆耕料	405	10	
13節	高齢者入浴助成事業委託料	13,306	13,306	
	デイ銭湯事業委託料	6,151	6,151	
	いきいきサークル事業委託料	3,595	2,815	
	入浴助成券対象者名簿作成業務委託料	216	162	
	宛名書き委託料	81	0	
19節	老人クラブ運営費補助金 74クラブ	4,738	4,479	
	老人クラブ連合会補助金	1,620	1,620	
20節	外国籍高齢者福祉給付金	360	0	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,749

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**シルバー人材センター支援事業**

【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・ シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。
- ・ 事務所の運営に係る経費を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,684	36,184	34,422		1,762

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
13節	シルバー人材センター用地除草委託料	232	232
19節	神奈川県シルバー人材センター連合会負担金	60	60
	シルバー人材センター運営費補助金	28,722	23,460
	シルバー人材センター事務所補助金	3,670	3,670
21節	シルバー人材センター運転資金貸付金	7,000	7,000

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**高齢者雇用促進事業**

【 高齢者いきいき課 】

※重点事業(事業CD:4-1-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 就業を希望する高齢者

意図 知識・経験豊かな高齢者の就労を通して地域課題の解決に取り組むとともに、高齢者の健康と生きがいの増進及び社会参加を図るため。

効果 意欲ある高齢者の就労を支援することで、高齢者の心身の健康及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【 事業の内容 】

- ・生涯現役促進地域連携鎌倉協議会と連携し、高齢者の雇用を促進するため、相談窓口設置、就労啓発セミナー、説明会等を開催した。
- ・国からの委託料が入金されるまでの運転資金として生涯現役促進地域連携鎌倉協議会に貸付を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,998	20,018	20,017		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			10	9
19節 収入印紙負担金			0	20
21節 生涯現役促進地域連携鎌倉協議会貸付金			19,988	19,988

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 25 老人福祉費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

後期高齢者医療事業特別会計繰出金

【 保険年金課 】

【 事業の内容 】

・後期高齢者医療事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,183,458	2,130,890	2,130,890		
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
28節 繰出金				2,183,458 2,130,890
<主な特定財源>				
・国県支出金				250,855

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**在宅福祉サービスセンター管理運営事業** 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂在宅福祉サービスセンター及び台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,613	31,613	28,485		3,128
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	維持管理用消耗品費		125	117
	非常用予備発電装置燃料費		9	0
	光熱水費		12,687	12,035
	維持修繕料		3,600	1,908
	備品修繕料		73	26
12節	電信料		341	327
	自家用電気工作物保守点検手数料		272	272
	消防設備器具保守点検手数料		154	154
	受水槽保守点検手数料		92	92
	冷温水発生機保守点検手数料		1,108	1,108
	ファンコイルユニット保守点検手数料		162	162
	貯湯槽保守点検手数料		119	119
	昇降機保守点検手数料		1,798	1,798
	ボイラー保守点検手数料		65	65
	空調保守点検手数料		302	259
	給水装置等定期点検手数料		65	65
	清掃業務		1,644	1,419
	建築設備等点検		927	459
13節	自動ドア保守点検業務委託料		146	146
	グリストラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料		102	102
	厨房送風機保守点検業務委託料		82	82
	総合管理業務委託料		7,063	7,063
	警備業務委託料		375	375
	樹木伐採業務委託料		104	99
	害虫駆除業務委託料		162	159
	受変電設備清掃業務委託料		36	36
	廃棄物処分委託料		0	38

(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 30 老人福祉施設費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**老人福祉センター管理運営事業** 【 高齢者いきいき課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【 事業の内容 】

- ・名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び腰越なごやかセンターの管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・各センターの施設修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
211,308	211,308	208,063		3,245
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	維持修繕料		16,000	15,935
12節	腰越なごやかセンター電信料		33	31
13節	老人福祉センター指定管理料		154,796	154,796
	腰越なごやかセンター指定管理料		29,879	29,879
	腰越なごやかセンター樹木剪定委託料		1,112	983
	名越やすらぎセンター耐震改修工事設計業務委託料		8,532	5,292
	名越やすらぎセンターアスベスト含有調査業務委託料		0	144
18節	老人福祉センター備品購入費		956	933
22節	腰越地域老人福祉センター建設工事に伴う損失補償金		0	70
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,764



(款) 15 民生費 (項) 5 社会福祉費 (目) 35 国民年金事務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**国民年金事務**

【 保険年金課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・国民年金に関する資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請等の受理・審査、及び外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談等を行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査等は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,980	5,443	5,305		138
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	国民年金相談員報酬 1人		1,320	1,320
7節	臨時的任用職員賃金		290	241
9節	国民年金相談員費用弁償		80	73
11節	国民年金事務用消耗品費		203	203
13節	国民年金システム改修委託料(届出の電子媒体化等に係る改修)		864	864
	国民年金システム改修委託料(年金生活者支援給付金に係る改修)		0	1,003
	国民年金システム改修委託料(産前産後期間免除に係る改修)		0	1,460
14節	電子複写機賃借料		223	141
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,305

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**児童福祉運営事業**

【 こども支援課・保育課他 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市児童福祉審議会を運営した。
- ・ 鎌倉市子ども・子育て会議を運営した。
- ・ 鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン～かまくらっ子をみんなで育てよう！～の推進を行うとともに、プランの改定へ向けたニーズ量調査を実施した。
- ・ 市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員を配置した。
- ・ 市内の保育所の給食調理に係る事務を円滑に行うため、栄養担当嘱託員を配置した。
- ・ 鎌倉市民間保育所等整備運営事業者選定委員会を運営した。
- ・ 子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行うとともに、併せて改元に対応する改修を実施した。
- ・ こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」を運営した。
- ・ 寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,465	42,095	38,412		3,683
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	児童福祉審議会委員報酬 6人		322	42
	鎌倉市子ども・子育て会議委員報酬 17人		728	334
	保健衛生嘱託員報酬 4人		5,088	4,144
	事務補助嘱託員報酬 6人		6,351	6,042
	こどもと家庭の相談室相談員報酬 4人		9,540	9,540
	栄養担当嘱託員報酬 1人		1,512	983
	鎌倉市民間保育所等整備運営事業者選定委員会委員報酬 5人		156	156
7節	臨時的任用職員賃金		788	535
8節	卒園児記念品等		389	279
9節	児童福祉審議会委員等費用弁償		23	0
	事務補助嘱託員費用弁償		864	356
	こどもと家庭の相談室相談員費用弁償		684	267
	保健衛生嘱託員費用弁償		480	300
	栄養担当嘱託員費用弁償		144	13
11節	消耗品費		75	70
	備品修繕料		1	0
12節	全国市長会認可保育所・認定こども園園児賠償責任保険料		244	245
13節	子育て支援事業計画改定ニーズ量調査及び計画策定業務委託料		4,506	3,078

	子ども・子育て支援システム保守業務委託料	1,620	1,620
	子ども・子育て支援システム改元対応委託料	2,412	1,693
	子ども・子育て支援システム給付制度法改正対応委託料	0	2,130
19節	鎌倉市保育会補助金	14	14
	鎌倉市保育士会補助金	14	14
25節	遺児福祉基金積立金	7,510	6,557

<主な特定財源>

	・国県支出金		4,475
--	--------	--	-------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**子育て支援事業** 【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【 事業の内容 】

- ・子育て家庭に情報提供をするために保育コンシェルジュを配置した。
- ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。
- ・ファミリーサポートセンター又は子育て支援事業者の育児支援又は家事支援を利用した人のうち、在宅で子育てをしている家庭などに、利用料の一部を助成した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,623	7,623	6,327		1,296
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
8節	保育コンシェルジュ謝礼		3,385	3,173
	子育て支援キャラクターイラスト作成謝礼		20	20
11節	消耗品費		150	148
12節	電信料		35	35
	保育コンシェルジュ賠償責任・傷害保険料		49	42
19節	子育て支援行事等補助金		1,164	1,164
	在宅子育て家庭支援事業利用料補助金		2,820	1,745
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			2,192

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**地域子育て支援拠点事業**

【 こども支援課・こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【 事業の内容 】

・児童福祉法に規定する地域子育て支援拠点事業及びその類似事業を指定管理等によって行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,853	33,853	33,228		625
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	光熱水費		1,564	1,061
	子育て支援センター維持修繕料		117	0
13節	鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料		22,788	22,788
	玉繩子育て支援センター指定管理料		6,433	6,433
	つどいの広場事業実施委託料		2,951	2,946
<主な特定財源>				
	・国県支出金			21,634

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**ファミリー・サポート・センター事業** 【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子育て家庭等

意図 育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭を支え、心豊かに暮らせる状況を実現する。

【 事業の内容 】

・ 育児等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,236	11,236	11,084		152
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		98	95
	光熱水費		112	87
12節	電信料		354	247
	ファミリーサポートセンター補償保険料		171	154
13節	ファミリーサポートセンター運営委託料		10,501	10,501
<主な特定財源>				
・国県支出金				7,433

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**養育支援訪問等事業**

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 児童等

意図 児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。

効果 児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

【 事業の内容 】

- ・相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者の配置や講座の開催等の児童虐待未然防止対策を実施した。
- ・児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護を実施した。
- ・養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,820	1,820	779		1,041
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ママのトークタイムわかば等謝礼		392	326
9節	こどもと家庭の相談室相談員研修会等費用弁償		26	26
	BPファシリテーター養成講座研修旅費		10	0
11節	消耗品費		91	82
12節	養育支援訪問事業等補償保険料		50	49
13節	養育支援訪問事業委託料		615	123
	子育て短期支援事業委託料		20	0
	短期入所生活援助事業委託料		483	42
19節	BPファシリテーター養成講座等負担金		133	131
<主な特定財源>				
	・国県支出金			415

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**子ども会館・子どもの家管理運営事業** 【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を提供し、心身の健やかな育成を図るほか、居宅内労働を含む就労等において保護者が昼間家庭にいない児童に対して、家庭的な支援を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、支援員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。
- ・子ども会館・子どもの家の一部施設について、指定管理者により運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
514,053	459,304	447,062		12,242
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	こども育成専任支援員報酬 27人		76,954	67,724
	こども育成支援員報酬 86人		125,670	98,115
	放課後かまくらっ子嘱託員報酬 3人		3,690	3,075
	施設巡回嘱託員報酬 1人		605	605
	子どもの家等指定管理者選定委員会委員報酬		156	0
7節	夏期及び障害児対応等臨時的任用職員賃金		20,295	9,119
8節	行事協力等謝礼		1,000	540
9節	非常勤嘱託員費用弁償		7,875	6,579
	研修旅費		125	63
11節	消耗品費		4,184	4,183
	燃料費		126	65
	光熱水費		4,823	4,997
	せきや子どもの家北側外構門扉修繕料		1,291	1,291
	おおふな子どもの家女子トイレ等修繕料		10,011	9,898
	備品修繕料		30	0
	医薬材料費		180	155
12節	電信料		1,494	1,509
	エレベーター保守点検等手数料		552	463
	賠償責任保険料		1,569	1,151
13節	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料(欠員、長期分)		47,376	44,743
	腰越・山崎子ども会館・子どもの家指定管理料		42,984	40,449
	西鎌倉子ども会館・家、いまいずみ子どもの家・岩瀬子ども会館指定管理料		41,127	37,668
	梶原子ども会館指定管理料		9,181	9,181
	子ども会館・子どもの家放課後児童支援員派遣業務委託料(早朝、長期分)		7,488	7,619



	子どもの家利用料徴収システム機能強化委託料	2,643	1,968
	機械警備委託料	746	746
	軽作業委託料	335	294
	伐採・斜面地草刈委託料	317	237
	備品等廃棄物収集運搬処分委託料	246	509
	入退室管理システム生徒情報データインポート業務委託料	130	0
	子どもの家利用料徴収システム保守委託料	162	162
	入退室管理システム名簿入力業務委託料	31	0
	蜂駆除委託料	38	38
	入退室管理システム児童カード作成業務委託料	22	0
	クレペリン検査委託料	22	0
14節	いまいずみ子どもの家賃借料	21,804	21,804
	にしかまくら子どもの家賃借料	21,535	21,535
	腰越子ども会館・子どもの家賃借料	17,496	17,496
	大船子どもの家増築棟賃借料	6,367	6,367
	深沢子ども会館暫定施設賃借料	5,210	5,210
	山崎子どもの家増築棟賃借料	3,120	3,120
	入退室管理システム使用料	593	530
	負傷児童病院送迎用タクシー使用料	11	0
18節	冷蔵庫等備品購入費	1,000	510
19節	放課後児童クラブ補助金	23,437	17,344
22節	賠償金	1	0
23節	子どもの家利用料還付金	1	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		179,224
--	--------	--	---------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**小児医療助成事業**

【 こども相談課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳～中学校3年生の入・通院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・食事療養標準負担額を除く0歳～中学校3年生の入・通院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
550,708	545,864	472,321		73,543

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	827	733
11節	医療助成事務用消耗品費	168	96
	受診証等印刷製本費	165	21
12節	審査支払等手数料	20,223	16,332
20節	医療扶助費	529,325	455,139

助成件数	月平均対象者
延 250,717件	15,335人

<主な特定財源>

・国県支出金

61,712

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**未熟児養育医療事業**

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生した乳児(0歳児)

意図 諸機能を得るまでに必要な入院医療にかかる費用を負担することにより、保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 未熟児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【 事業の内容 】

- ・ 出生時の体重が2,000g以下または身体の発育が未熟のまま出生し、指定医療機関へ入院して養育を行う必要のある乳児(0歳児)に対して、諸機能を得るまでの必要な入院医療にかかる費用を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,496	11,340	7,096		4,244

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金	58	43
11節	未熟児養育医療事務用消耗品費	33	28
12節	審査支払手数料	5	3
20節	医療扶助費	6,400	7,022

助	成	件	数	月	平	均	対	象	者
		延	136件						7人

<主な特定財源>

・国県支出金

6,726

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**放課後子ども総合プラン運営事業** 【 青少年課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 市立小学校に就学する小学生等

意図 全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため。

効果 待機児童の減少を図る。

【 事業の内容 】

・全ての児童を対象とした放課後子ども総合プランを2小学校区で実施した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
99,672	97,075	94,514		2,561
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	子どもの家等指定管理者選定委員会委員報酬 5人		416	252
8節	放課後子ども総合プラン検討委員会等報償費		159	236
9節	非常勤嘱託員等費用弁償		45	12
11節	消耗品費		4,360	4,351
	光熱水費		441	19
	医薬材料費		140	102
12節	電信料		84	4
13節	機械警備委託料		188	27
	合同保育等準備委託料		9,280	9,279
	引越業務委託料		648	225
	放課後かまくらっ子指定管理料(ふかさわ・せきや)		47,636	46,301
	入退室管理システム生徒情報データインポート業務委託料		22	0
	入退室管理システム名簿入力業務委託料		26	0
	入退室管理システム児童カード作成業務委託料		19	0
14節	子どもひろばふかさわ・ふかさわ子どもの家賃借料		25,164	25,164
	子どもひろばせきや・せきや子どもの家賃借料		8,940	7,179
	入退室管理システム使用料		104	45
18節	AED等備品購入費		2,000	1,318
<主な特定財源>				
	・国県支出金			220

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 5 児童福祉総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

**職員給与費**

職員課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部(青少年課鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館・発達支援室発達相談担当を除く)  
健康福祉部保険年金課(医療給付担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,221,832	1,141,922
・ 2節 給料 一般職	566,587	515,262
一般職職員 154人		
短時間勤務職員 7人		
・ 3節 職員手当等	438,629	403,019
扶養手当	11,169	10,788
地域手当	87,760	79,995
通勤手当	12,382	11,798
超過勤務手当	53,068	43,750
休日給	166	267
管理職手当	7,251	7,251
特殊勤務手当	1,162	1,018
期末勤勉手当	239,668	224,029
住居手当	19,918	18,097
管理職員特別勤務手当	0	21
児童手当	6,085	6,005
・ 4節 共済費	216,616	223,641
市町村職員共済組合負担金	199,154	187,060
社会保険料	15,146	34,417
雇用保険料	2,316	2,164

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**児童手当支給事業** 【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 児童を養育している者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【 事業の内容 】

- ・児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育している者に手当を支給した。
- ・支給額 0歳から3歳未満の児童及び3歳以上小学校修了前の第3子以降の児童は、15,000円(月額)。3歳以上小学校修了前の第1、2子の児童及び中学生は、10,000円(月額)。なお、所得制限限度額以上である場合は年齢によらず一律5,000円(月額)。
- ・児童手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,384,331	2,310,195	2,266,812		43,383
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
7節	臨時的任用職員賃金	2,545	2,527	
11節	児童手当消耗品費	283	282	
	児童手当印刷製本費	100	100	
13節	児童手当システム運用業務委託料	4,441	4,441	
	番号制度対応児童手当システム改修委託料	3,143	3,143	
	児童手当システム改元対応委託料	140	140	
	税基幹システム改修業務委託料	0	821	
14節	児童手当システム機器賃借料	4,879	4,878	
20節	児童手当・特例給付	2,368,800	2,250,480	
	・児童手当			
	0歳から3歳未満(被用者)	月額15,000円	2,111人分	12ヶ月
	0歳から3歳未満(非被用者)	月額15,000円	423人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額10,000円	8,239人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額15,000円	862人分	12ヶ月
	中学生	月額10,000円	2,719人分	12ヶ月
	・特例給付			
	0歳から3歳未満(被用者)	月額5,000円	468人分	12ヶ月
	0歳から3歳未満(非被用者)	月額5,000円	32人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(1子・2子)	月額5,000円	2,964人分	12ヶ月
	3歳以上小学校修了前(3子以降)	月額5,000円	334人分	12ヶ月
	中学生	月額5,000円	1,520人分	12ヶ月

・児童手当(施設入所)

0歳から3歳未満	月額15,000円	1人分	12ヶ月
3歳以上小学校修了前	月額10,000円	29人分	12ヶ月
中学生	月額10,000円	19人分	12ヶ月

<主な特定財源>

・国県支出金	1,908,338
--------	-----------

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

入院助産等事業

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 子育て  
施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 経済的な理由により、出産が困難な家庭に出産の扶助をした。
- ・ 母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子とともに生活支援施設に入所させて保護した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,494	12,494	5,426		7,068

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
20節 助産施設入所費	534	495
母子生活支援施設入所費	11,960	4,931

<主な特定財源>

・国県支出金 4,189



(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特定教育・保育施設支援事業**

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う就学前児童

意図 市内在住の児童が通う特定教育・保育施設に対し給付を行い、施設経営の健全化を図るとともに、就学前児童の教育及び保育を行うため。

効果 特定教育・保育施設に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等を支給した。
- ・ 第2子保育料の無償化を行い、多子世帯の負担軽減を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,607,007	2,607,007	2,562,648		44,359
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	施設型給付費(1号認定児 地方単独費用部分)		59,666	58,095
20節	施設型給付費(2、3号認定児 私立保育所委託費)		1,983,938	1,979,626
	施設型給付費(1号認定児 全国統一費用部分及び2、3号認定児認定こども園分)		452,627	473,531
	施設型給付費(市外園児分)		60,305	44,473
	法外扶助費(市外園児法外対応分)		6,337	3,724
	認定こども園給付費(第2子無償化分)		44,134	3,199
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			1,162,785

施設名	事項名	給付費(委託費)支弁額	
		延人員 単 位 : 人	金 額 単 位 : 円
施設型給付費 (1号認定児 地方単独費用部分)(私立)		3,530	58,094,811
施設型給付費(1号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(私立)		559	14,322,623
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市内園児分)(私立)		22,132	2,438,835,556
富士愛育園		1,461	127,487,230
聖アンナの園		1,922	163,198,930
岩瀬保育園		1,127	114,179,800
オランジエ		622	78,379,850
清心保育園		1,217	128,925,520
こぼとち一さりー		1,059	114,937,140
大船ひまわり保育園		893	132,767,850
たんぽぽ共同保育園		863	111,612,540
梶原の森たんぽぽ保育園		1,051	115,606,810
山崎保育園		1,075	115,923,550
ピヨピヨ保育園		806	105,939,450
寺分保育園		1,343	122,504,542
プレップおおぞら保育園		357	103,007,440
保育園みつぱち		861	111,075,690
保育所のぞみ		304	66,260,340
うちゅう保育園かまくら		712	99,567,680
明照フラワーガーデン保育園		896	97,766,260
鎌倉おなり保育園		525	70,485,470
認定こども園アワーキッズ鎌倉		1,824	181,246,772
認定こども園アワーキッズ大船		1,750	111,346,515
認定こども園鎌倉みどりこども園		1,104	87,980,889
おおぞら保育園		360	78,635,288
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(公立)		84	3,350,970
施設型給付費(2、3号認定児 全国統一費用部分) (市外園児分)(私立)		1,092	44,473,940
法外扶助費 (市外園児法外対応分)(私立)		436	3,570,115
総 合 計		27,833	2,562,648,015

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特定地域型保育支援事業**

【 保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた家庭的保育事業者、小規模保育事業者等(地域型保育事業者)を利用する就学前児童

意図 市内在住の児童が利用している地域型保育事業者に対し給付を行い、事業運営の健全化を図るとともに、就学前児童の保育を行うため。

効果 地域型保育事業者を利用する児童の処遇向上及び事業運営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

・ 特定地域型保育事業者に対し、地域型保育給付費を支給した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,459	179,459	163,184		16,275

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
20節	地域型保育給付費(小規模保育事業・事業所内保育事業)	144,832	153,187
	地域型保育給付費(家庭的保育事業)	13,627	9,997

<主な特定財源>

・ 国県支出金 102,059

施設名	事項名	給付費(委託費)支弁額	
		延人員 単位:人	金額 単位:円
地域型保育給付費 (市内園児分)(私立)		644	156,703,180
まんまる保育室		150	34,555,680
保育室ハピネス		190	44,807,420
てつなぐ腰越保育室		192	38,165,660
ササキ保育室		68	29,177,200
深見保育室		44	9,997,220
地域型保育給付費 (市外園児分)(私立)		35	6,481,260
総計		679	163,184,440

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**特別保育事業**

【 保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けた幼稚園、保育所及び認定こども園(特定教育・保育施設)に通う児童等

意図 特定教育・保育施設に通う児童等に係る通常保育以外の保育を行うため。

効果 子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の充実を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・ 公立保育園において、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施した。
- ・ 病中または病後の児童で、保育が必要な児童に対して保育を行う病児・病後児保育を実施した。
- ・ 私立保育所等が、認定された保育時間を超えて在籍児童の保育を行う、延長保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 幼稚園または認定こども園が、通常教育時間を超えて在籍児童の保育を行う、預かり保育を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等が、保護者が就労、疾病等を理由に児童保育が困難な場合に、一時的に保育を行う一時預かり事業を実施する際に要する経費に対して、補助金を交付した。
- ・ 私立保育所等を利用する保護者が施設に支払うべき実費徴収額の一部について、生活保護世帯の負担を軽減するために減免をした施設に対して、補助金を交付する制度は、利用がなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
146,351	124,086	110,087		13,999
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	一時預かり事業非常勤嘱託員報酬 8人		10,845	9,369
7節	臨時的任用職員賃金		14,386	4,800
9節	一時預かり事業非常勤嘱託員費用弁償		454	144
13節	保育士派遣業務委託料		13,526	5,320
	病児・病後児保育委託料		45,524	45,524
19節	延長保育事業等補助金		39,788	26,974
	幼稚園型預かり保育補助金		6,393	4,488
	一時預かり事業補助金		15,081	13,468
	実費徴収補足給付事業補助金		354	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			68,748

子ども・子育て支援交付金

施設名	事項名	延長 補助金 保育事業等	幼稚園型 補助金 預かり	一時 預かり 補助金 事業	実費徴収 補足給付 事業補助金	小計
富士愛育園		1,355	0	0	0	1,355
聖アンナの園		1,437	0	0	0	1,437
岩瀬保育園		1,417	0	1,524	0	2,941
オランジエ		1,342	0	0	0	1,342
清心保育園		1,359	0	1,524	0	2,883
こばとナーサリー		1,342	0	1,680	0	3,022
大船ひまわり保育園		1,342	0	0	0	1,342
たんぽぽ共同保育園		1,343	0	3,020	0	4,363
梶原の森たんぽぽ保育園		1,418	0	0	0	1,418
山崎保育園		2,209	0	3,020	0	5,229
ピヨピヨ保育園		1,365	0	0	0	1,365
寺分保育園		1,387	0	0	0	1,387
プレップおおぞら保育園		300	0	0	0	300
認定こども園アワーキッズ鎌倉		1,370	2,705	0	0	4,075
認定こども園アワーキッズ大船		2,352	0	0	0	2,352
認定こども園鎌倉みどりこども園		1,374	785	0	0	2,159
認定こども園おおぞら幼稚園		0	998	0	0	998
保育園みつばち		1,376	0	1,680	0	3,056
保育所のぞみ		0	0	0	0	0
うちゅう保育園かまくら		300	0	0	0	300
明照フラワーガーデン保育園		1,360	0	1,020	0	2,380
鎌倉おなり保育園		316	0	0	0	316
まんまる保育室		300	0	0	0	300
保育室ハピネス		310	0	0	0	310
てつなぐ腰越保育室		300	0	0	0	300
市外		0	0	0	0	0
合計		26,974	4,488	13,468	0	44,930

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**私立保育所等助成事業**

【 子育て支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が通う私立保育所等に対し補助を行い、施設経営の健全化を図るとともに、両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所等に通う児童の処遇向上及び施設経営の健全化等を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【 事業の内容 】

- ・私立保育所等に対する支援として、民間保育所特別経常費補助金及び保育緊急対策事業費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育推進特別対策事業費補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所等運営改善費補助金を交付した。
- ・届出保育施設に入所している児童の保育に要する経費に対する補助金を交付した。
- ・認可保育所又は認定こども園への移行を希望する認可外保育施設に対して、移行に必要な経費を補助する認可化移行運営費支援事業補助金については、対象施設がなかったため、補助金を交付しなかった。
- ・私立保育所等の事業者が保育士用の宿舍を借り上げる費用の一部及び小規模保育施設との連携に要する費用の一部に対して補助金を交付した。
- ・私立保育所等に対して、職員のキャリアアップに資する研修に参加する際の代替保育士の雇用経費の一部に対して補助金を交付した。
- ・賃借物件を活用して私立保育所を運営する事業者の家賃に対して補助する安心こども交付金については、神奈川県補助制度が平成29年度末をもって終了したため、補助金を交付しなかった。
- ・認定こども園化を目指す幼稚園が実施する長時間の預かり保育に必要な経費に対する長時間預かり保育支援事業費補助金を交付した。
- ・子育て支援施策、待機児童対策として、私立幼稚園の預かり保育に対して補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
458,233	429,292	403,939		25,353
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	幼稚園教諭表彰記念品		55	16
19節	民間保育所特別経常費補助金		13,421	13,421
	保育緊急対策事業費補助金		38,965	23,027
	障害児保育推進特別対策事業費補助金		22,200	18,765
	民間保育所等運営改善費補助金		318,176	309,128
	届出保育施設運営改善費補助金		534	239
	認可化移行運営費支援事業補助金		3,348	0
	保育対策総合支援事業費補助金		22,140	23,430
	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金		3,050	2,985
	安心こども交付金		2,901	0

私立幼稚園長時間預かり保育支援事業費補助金  
 私立幼稚園預かり保育運営費補助金

11,343 5,642  
 22,100 7,286

<主な特定財源>

・国県支出金

41,052

区分	保育所等 富士愛育園	聖アンナの園	岩瀬保育園	オレンジ	清心保育園	こぼと ナーサリー	大船ひまわり 保育園	たんぽぽ 共同保育園
計	20,406	21,647	20,241	14,662	16,491	26,964	19,169	18,964
民間保育所 特別経常費補助金	1,612	0	780	0	0	6,394	0	1,800
保育緊急対策 事業費補助金	694	694	2,972	370	1,833	1,544	694	789
低年齢児受入対策 緊急支援事業	0	0	2,278	0	1,139	1,139	0	95
民間保育所健康 管理体制強化事業	0	0	0	370	0	0	0	0
要保護児童保育所 受入促進事業	694	694	694	0	694	405	694	694
障害児保育推進 特別対策事業費 補助金	2,355	0	1,368	804	285	3,420	627	684
特別経費	1,728	0	0	804	0	0	0	0
通常経費	627	0	1,368	0	285	3,420	627	684
民間保育所等 運営改善費補助金	15,475	16,503	14,267	12,138	14,373	14,145	16,712	13,517
職員加算	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720
経営改善費	7,865	8,028	7,294	6,099	7,225	7,290	10,150	7,034
処遇改善費	2,703	3,556	2,078	1,153	2,250	1,959	1,674	1,597
健康管理費	139	139	139	139	139	139	139	139
災害共済負担費	48	60	36	27	39	37	29	27
保育対策総合支援 事業費補助金	0	4,450	854	1,350	0	1,461	1,136	2,027
サテライト型 小規模保育事業	0	4,450	0	0	0	0	0	0
保育士宿舍 借り上げ支援事業	0	0	854	1,350	0	1,461	1,136	2,027
保育エキスパート等 研修代替保育士 雇用費補助金	270	0	0	0	0	0	0	147

区分	保育所等 梶原の森 たんぼぼ 保育園	山崎保育園	ピヨピヨ 保育園	寺分保育園	プレップ おおぞら 保育園	認定こども園 アワーキッズ 鎌倉	認定こども園 アワーキッズ 大船	認定こども園 鎌倉みどり こども園
計	23,380	15,873	21,043	22,337	13,894	20,659	17,278	16,089
民間保育所 特別経常費補助金	0	0	2,835	0	0	0	0	0
保育緊急対策 事業費補助金	2,782	884	2,088	1,833	1,264	370	369	852
低年齢児受入対策 緊急支援事業	2,088	190	2,088	1,139	570	0	0	158
民間保育所健康 管理体制強化事業	0	0	0	0	0	370	369	0
要保護児童保育所 受入促進事業	694	694	0	694	694	0	0	694
障害児保育推進 特別対策事業費 補助金	2,280	0	1,971	533	0	0	0	670
特別経費	0	0	603	0	0	0	0	670
通常経費	2,280	0	1,368	533	0	0	0	0
民間保育所等 運営改善費補助金	14,526	14,375	13,429	15,489	12,377	19,078	15,834	13,383
職員加算	4,720	4,720	4,720	4,720	4,374	4,720	4,720	4,720
経営改善費	7,574	7,495	7,035	8,052	6,859	10,589	7,564	6,545
処遇改善費	2,059	1,989	1,510	2,536	1,006	3,593	3,349	2,087
健康管理費	139	138	138	138	138	86	138	0
災害共済負担費	34	33	26	43	0	90	63	31
保育対策総合支援 事業費補助金	3,309	369	540	4,450	0	941	1,002	537
サテライト型 小規模保育事業	0	0	0	4,450	0	0	0	0
保育士宿舎 借り上げ支援事業	3,309	369	540	0	0	941	1,002	537
保育エキスパート等 研修代替保育士 雇用費補助金	483	245	180	32	253	270	73	647



区分	保育所等	認定こども園 おおぞら 幼稚園	保育園 みつばち	保育所 のぞみ	うちゅう 保育園 かまくら	明照フラワー ガーデン 保育園	鎌倉おなり 保育園	まんまる 保育室	保育室 ハピネス
計		11,667	14,343	10,536	14,493	16,870	13,460	285	0
	民間保育所 特別経費補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	保育緊急対策 事業費補助金	0	788	347	1,168	0	693	0	0
	低年齢児受入対策 緊急支援事業	0	95	0	475	0	0	0	0
	民間保育所健康 管理体制強化事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	要保護児童保育所 受入促進事業	0	693	347	693	0	693	0	0
	障害児保育推進 特別対策事業費 補助金	684	0	0	228	2,856	0	0	0
	特別経費	0	0	0	0	804	0	0	0
	通常経費	684	0	0	228	2,052	0	0	0
	民間保育所等 運営改善費補助金	10,983	13,515	10,189	12,997	14,014	11,763	40	0
	職員加算	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	0	0
	経営改善費	5,641	7,035	4,905	6,938	7,412	6,072	0	0
	処遇改善費	622	1,609	564	1,317	1,713	971	0	0
	健康管理費	0	124	0	0	138	0	40	0
	災害共済負担費	0	27	0	22	31	0	0	0
	保育対策総合支援 事業費補助金	0	0	0	0	0	1,004	0	0
	サテライト型 小規模保育事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	保育士宿舎 借上げ支援事業	0	0	0	0	0	1,004	0	0
	保育エキスパート等 研修代替保育士 雇用費補助金	0	40	0	100	0	0	245	0

区分	保育所等 腰越保育室	計
計	6	390,757
民間保育所 特別経常費補助金	0	13,421
保育緊急対策 事業費補助金	0	23,028
低年齢児受入対策 緊急支援事業	0	11,454
民間保育所健康 管理体制強化事業	0	1,109
要保護児童保育所 受入促進事業	0	10,465
障害児保育推進 特別対策事業費 補助金	0	18,765
特別経費	0	4,609
通常経費	0	14,156
民間保育所等 運営改善費補助金	6	309,128
職員加算	0	103,494
経営改善費	0	160,701
処遇改善費	0	41,895
健康管理費	0	2,329
災害共済負担費	6	709
保育対策総合支援 事業費補助金	0	23,430
サテライト型 小規模保育事業	0	8,900
保育士宿舎 借り上げ支援事業	0	14,530
保育エキスパート等 研修代替保育士 雇用費補助金	0	2,985

区分	保育所等 キッズプレイ ルーム	W.Co どんぐり	たまっこ ルーム	もりもり	ののはな	計
計	101	20	5	9	104	239
届出保育施設 運営改善費補助金	101	20	5	9	104	239
児童健康管理費	10	5	0	0	104	119
従事者健康管理費	76	0	0	0	0	76
施設賠償責任保険	15	15	5	9	0	44

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 10 児童支援費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**私立保育所等整備事業**

【 子育て支援課・保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 私立保育所等を運営する法人

意図 市内の私立保育所の整備等に対し補助を行い、待機児童の解消等を図るため。

効果 待機児童の解消や子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 御成町在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。
- ・ 台調整池上部建物において、必要な修繕を行った。
- ・ 玉縄地域の待機児童対策として、フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地を賃借した。
- ・ 鎌倉地域の待機児童対策として、旧横浜地方法務局鎌倉出張所を賃借した。
- ・ 鎌倉地域の待機児童対策として、浄明寺県営住宅跡地を取得した。
- ・ 保育所の新設及び改修費等の施設整備費に対して補助金を交付した。
- ・ 腰越保育園建替えの検討を行うため、用地測量業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
268,946	206,651	200,800		5,851
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		90	12
	光熱水費		2,575	2,534
	御成町在宅福祉サービスセンター維持修繕料		2,220	120
	台調整池上部建物保育施設部分維持修繕料		75	75
12節	電信料		137	151
	御成町在宅福祉サービスセンター自家用電気工作物保守点検等 手数料		289	259
13節	浄明寺県営住宅跡地土地測量業務委託料		620	150
	御成町在宅福祉サービスセンター総合管理業務委託料		4,520	4,130
	御成町在宅福祉サービスセンター受変電設備清掃業務委託料		36	0
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所樹木伐採・伐根業務委託料		0	407
	腰越保育園建替え検討に伴う測量業務委託料		0	410
	既存境界点検査探索等測量業務委託料		0	273
14節	フラワーセンター大船植物園本園苗ほ跡地土地借地料		9,023	9,022
	旧横浜地方法務局鎌倉出張所土地・建物賃借料		11,320	11,320
17節	浄明寺県営住宅跡地用地取得費		22,174	22,174
19節	佐助保育園整備費補助金		20,250	20,250
	七里が浜楓幼稚園認定こども園整備費補助金		16,500	102,504
	西鎌倉幼稚園小規模計画補助金		101,845	0
	西鎌倉幼稚園認定こども園計画補助金		77,272	0
	山崎保育園整備費補助金		0	3,009
	きみのまま保育園整備費補助金		0	24,000

<主な特定財源>

・国県支出金

110,344

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**ひとり親家庭等生活支援事業**

【 こども相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等

意図 ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の安定した生活を維持する。

【 事業の内容 】

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や、父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援としてひとり親家庭自立支援教育訓練給付金、ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けを行った。
- ・遺児が中学校を卒業する際に卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
323,175	302,520	293,060		9,460
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	児童扶養手当認定医報酬 1人	30	15	
	ひとり親家庭自立支援員報酬 2人	5,040	4,710	
8節	遺児卒業祝金	540	360	
	ひとり親家庭等児童大学進学支度金	3,000	2,760	
9節	ひとり親家庭自立支援員費用弁償	351	176	
11節	児童扶養手当消耗品費	30	28	
12節	ひとり親家庭等日常生活支援事業補償保険料	25	24	
13節	ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料	103	9	
	児童扶養手当(福祉総合)システム改元対応委託料	667	513	
	児童扶養手当法改正に係る福祉総合システム改修業務委託料	0	1,345	
19節	鎌倉市母子寡婦福祉会補助金	35	35	
	ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	300	139	
20節	ひとり親家庭等家賃助成	20,640	15,472	
	児童扶養手当	284,961	263,703	
	ひとり親家庭自立支援高等職業訓練促進給付金	7,250	3,769	
21節	母子、寡婦及び父子福祉資金貸付金	200	0	
25節	社会福祉基金利子積立金	3	2	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			98,181

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 15 母子福祉費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**ひとり親家庭等医療助成事業**

【 子育て相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 ひとり親家庭等の子どもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【 事業の内容 】

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前の子どもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を一定の所得制限を設けて助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,505	66,505	56,615		9,890

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金	58	54
11節 医療助成事務用消耗品費	32	26
受診証等印刷製本費	77	0
12節 審査支払手数料	1,638	1,419
20節 医療扶助費	64,700	55,116

助成件数	月平均対象者
延 21,746件	1,787人

<主な特定財源>

- ・国県支出金

26,801

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**公立保育所管理運営事業**

【 こども支援課・保育課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・岡本保育園園舎を賃借した。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
485,342	444,717	418,950		25,767
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 24人		2,517	2,516
	低年齢児保育用非常勤嘱託員報酬 1人		1,325	806
	保育非常勤嘱託員報酬 20人		13,311	11,366
7節	産休・育休代替等臨時的任用職員賃金		143,214	128,557
8節	人形劇等公演謝礼		300	260
9節	保育非常勤嘱託員等費用弁償		1,028	498
11節	保育用消耗品費		6,634	6,225
	印刷製本費		82	82
	光熱水費		31,610	21,829
	維持修繕料		14,240	14,197
	備品修繕料		200	163
	給食賄材料費		63,013	57,295
	給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費		446	427
	医薬材料費		90	73
12節	電信料		741	727
	検便検査手数料		667	425
	清掃業務手数料		13,257	10,003
	エレベーター保守点検等手数料		3,507	3,364
13節	処理困難備品廃棄処分委託料		200	80
	用務・軽作業業務委託料		8,777	8,343
	警備委託料		1,185	1,125
	グリストラップ清掃業務及び油汚泥収集運搬業務委託料		591	456
	油汚泥処分業務委託料		105	104
	布団乾燥委託料		1,330	1,116
	受水槽清掃委託料		284	271
	ゴキブリ駆除委託料		55	71

	園庭整備委託料	400	100
	臨時的任用職員健康診断委託料	206	108
	遊具点検業務委託料	54	42
	第三者評価事業委託料	324	227
	給食調理業務委託料	64,433	64,271
	保育士派遣業務委託料	67,627	41,154
	深沢保育園トイレ排気ファン回路変更業務委託料	0	29
14節	低年齢児用体動モニター等賃借料	1,214	1,013
	岡本保育園園舎賃借料	39,248	39,248
18節	保育園用備品購入費	1,553	1,110
	給食用備品購入費	1,116	832
19節	日本スポーツ振興センター災害共済等負担金	452	437
22節	過少収納時補てん金	5	0
	保育所事故損害賠償金	1	0

<主な特定財源>

	・国県支出金		9,464
--	--------	--	-------



(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○すべての子育て家庭への支援

**あおぞら園管理運営事業** 【 発達支援室 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 子育て  
 施策の方針 すべての子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 発達に特別な支援を必要とする児童

意図 児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練を提供するため。

効果 発達に特別な支援を必要とする児童が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため、自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと。

【 事業の内容 】

- ・ 発達に特別な支援を必要とする児童に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達の援助を行った。
- ・ あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,218	78,218	72,763		5,455
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	嘱託医報酬			
	精神科医師 1人		791	791
	小児科医師 1人		142	142
	眼科医師 1人		69	69
	耳鼻科医師 1人		69	69
	歯科医師 1人		139	139
	栄養・給食嘱託員報酬 1人		1,728	1,728
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	1,213
7節	臨時的任用職員賃金		3,069	2,138
8節	保護者向け講演会講師謝礼等		54	51
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		318	153
11節	消耗品費		1,352	1,290
	燃料費		93	53
	印刷製本費		16	8
	光熱水費		2,775	2,124
	緊急小破修繕料		3,330	5,492
	屋上防水等修繕料		21,563	20,088
	自動火災報知設備更新修繕料		1,512	562
	車両修繕料		72	19
	給食賄材料費		3,677	3,758
	給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費		88	46
	医薬材料費		30	30
12節	電信料		257	242
	自家用電気工作物保安管理等手数料		541	500
	普通傷害保険料		459	459

13節	通園バス運行委託料	12,119	11,907
	給食調理業務委託料	10,199	9,720
	総合施設管理業務委託料	6,879	5,576
	保育士派遣委託料	4,244	3,882
	警備業務委託料	106	106
	植木剪定業務委託料	70	70
	健康診断用健診器具滅菌業務委託料	7	7
14節	コピー機等賃借料	173	173
18節	整理棚備品購入費	130	130
19節	県社会福祉協議会会費負担金	25	25
	市社会福祉協議会会費負担金	3	3
	事故見舞金負担金	1	0
22節	児童発達支援センター事故損害賠償金	1	0

利用状況

・児童発達支援センターあおぞら園

児童発達支援 開園日数:229日 年間利用児数:30人(延4,365人)

保育所等訪問支援 年間利用児数:3人(延28人)

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**子ども会館・子どもの家整備事業**

【 こども支援課・青少年課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもの家等の整備を行い、遊びを通して相互の交流が図られ、社会性が身につけられるよう充実を図るとともに、増加する学童保育の需要に対応するため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【 事業の内容 】

- ・子どもの家等の施設整備を行った。
- ・(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事については、工事着手後想定以上の腐朽が確認され当初設計の修正・検証が必要となることから、既存建物の一部の解体及び撤去作業のみに契約を変更し、前年度からの通次繰越分を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
176,706	40,152	32,106		8,046
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	学童保育施設緑化等業務委託料		3,792	0
	市役所第四分庁舎改修業務委託料		0	10,638
	学童保育施設整備に係る深沢小学校西側外構整備業務委託料		0	2,792
	関谷小学校敷地整備業務委託料		0	477
	(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事監理業務委託料		4,778	1,339
	(継続事業・前年度からの通次繰越)			
14節	旧鎌倉図書館改修部材等保存倉庫賃貸借料		0	202
15節	(仮称)おなり子どもの家等耐震改修及び増築工事請負費		167,320	16,658
	(継続事業・前年度からの通次繰越)			
19節	水道利用加入金(おなり子どもの家)		816	0

(款) 15 民生費 (項) 10 児童福祉費 (目) 20 児童福祉施設費

◎子育て ○子育て支援施設の整備

**公立保育所整備事業**

【 子育て支援課・保育課 】

※重点事業(事業CD:4-2-2-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て支援施設の整備

【 事業の目的 】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【 事業の内容 】

- ・ 由比ガ浜子どもセンター建設工事に起因する家屋損害等が発生したため、補償した。
- ・ 保育園閉園に伴い、備品等の廃棄物を処分した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,698	1,992	1,184		808

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 旧材木座・旧稲瀬川保育園備品等廃棄物収集運搬処分業務委託料	1,698	991
22節 由比ガ浜子どもセンター建設工事周辺家屋補償金	1,000	193

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**生活保護事務** 【 生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,902	16,442	13,691		2,751
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節 嘱託医報酬(一般・精神科) 2人			1,606	1,606
就労支援員報酬 1人			1,020	960
医療・介護・調査担当事務補助嘱託員報酬 1人			1,058	1,036
生活保護面接相談員報酬 2人			3,370	2,916
9節 生活保護面接相談員等費用弁償			569	238
11節 消耗品費			231	230
12節 一般診療等審査手数料			1,903	1,253
相続財産管理人申立官報告料等			5	0
13節 住宅片付事業委託料			291	281
レセプト点検事業委託料			289	250
保護費封入委託料			130	115
生活保護システム改修委託料			1,652	4,028
14節 生活保護等版レセプト管理システムクラウド利用料			778	778
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
・ 国県支出金				6,520

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 5 生活保護総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】  
健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	91,559	91,084
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 13人	40,881	38,945
・ 3節 職員手当等	34,555	36,789
扶養手当	737	858
地域手当	6,243	5,970
通勤手当	1,647	1,790
超過勤務手当	4,993	7,516
休日給	0	13
特殊勤務手当	590	384
期末勤勉手当	17,727	17,380
住居手当	2,318	2,108
児童手当	300	770
・ 4節 共済費	16,123	15,350
市町村職員共済組合負担金	15,555	14,878
社会保険料	568	472

(款) 15 民生費 (項) 15 生活保護費 (目) 10 扶助費

◎健康福祉 ○地域生活の支援サービス

**扶助事業**

生活福祉課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 地域生活の支援サービス

【 事業の目的 】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【 事業の内容 】

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,110,000	2,110,000	1,987,748		122,252
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
20節 生活扶助費	延	10,569 人	600,000	606,157
医療扶助費	延	9,752 人	1,074,000	923,666
教育扶助費	延	365 人	3,600	3,373
住宅扶助費	延	8,760 世帯	373,000	371,482
生業扶助費	延	216 人	2,500	3,727
出産扶助費	延	0 人	1,000	0
葬祭扶助費	延	30 人	2,500	6,142
施設事務費	延	49 人	5,900	7,322
介護扶助費	延	2,579 人	47,000	65,629
就労自立給付金	延	1 人	500	150
進学準備給付金	延	1 人	0	100
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,648,373

(款) 15 民生費 (項) 20 災害救助費 (目) 5 災害救助費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

**災害救助事業**

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して、災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【 事業の内容 】

- ・ 火災等により被害を受けた方に対して、見舞金・弔慰金を支給した。
- ・ 異常な自然現象により被害を受けた方に対して、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,093	1,093	597		496
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	避難所借用等謝礼		73	0
11節	風水害避難所開設用消耗品費		10	7
19節	小災害見舞金		500	90
	小災害弔慰金		500	500
21節	災害援護資金貸付金		10	0



(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

医療・保健関係団体支援事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 補助団体等

意図 補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,411	7,461	7,460		1
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
19節	地域医療センター維持管理費負担金	1,487	1,536	
	神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部運営費等負担金	80	80	
	鎌倉市医師会運営費補助金	2,534	2,534	
	鎌倉市衛生協議会運営費補助金	1,800	1,800	
	鎌倉市歯科医師会運営費補助金	1,272	1,272	
	鎌倉市薬剤師会運営費補助金	78	78	
	鎌倉助産師会運営費補助金	71	71	
	鎌倉食品衛生協会運営費補助金	58	58	
	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会運営費補助金	31	31	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**産科診療所支援事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・鎌倉市医師会立産科診療所の運営内容について透明性を確保するため、鎌倉市医師会が開催する、市民、学識経験者を交えた運営協議会について協力・支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
141,676	141,710	118,550		23,160
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				当初予算額 支出済額
13節	はじめまして赤ちゃん広場事業委託料		246	226
19節	産科診療所運営費補助金		140,964	117,844
	産科医師等分娩手当補助金		466	480
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			480

**保健衛生運営事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るため。

効果 市民の健康衛生の水準を向上させる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康づくりの指針・行動計画となる健康づくり計画を推進し、市民の健康寿命の延伸を図った。
- ・日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。あわせてホームページや広報かまぐらの活用、市内事業所や町内会、ライオンズクラブ等との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識や命の大切さについての周知啓発を行った。
- ・自殺対策基本法に基づき、総合的な自殺対策の展開を図るため、自殺対策計画を策定した。
- ・かながわ未病改善宣言に基づき、県や近隣市町と協力し、未病改善の取り組みを行った。
- ・骨髄・末梢血管細胞提供者(ドナー)の経済的な負担軽減及び骨髄移植等の推進を図るためのドナーとなった市民及びドナーが勤務する事業所を対象とした助成金の申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,148	5,098	3,708		1,390
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	健康づくり計画推進委員会委員報酬 15人		456	224
	鎌倉市自殺対策計画策定委員会委員報酬 8人		408	318
8節	健康づくり計画推進事業等報償費		260	120
11節	地域自殺対策啓発用等消耗品費		832	815
	印刷製本費		286	83
	備品修繕料		92	0
12節	電信料		78	47
	救急医療及び健診等保険料		822	802
13節	健康づくりマップ作成委託料		177	175
	衛生時報保存版作成委託料		492	492
	衛生時報保存版配布委託料		249	245
	産業廃棄物収集運搬処理委託料		68	51
	未病センターリーフレット配布委託料		416	136
14節	健康づくり計画推進事業イベント出展料		2	0
19節	未病サミット参加負担金		200	200
	骨髄・末梢血管細胞提供者補助金		210	0
22節	予防接種事故等賠償金		100	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			392

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**救急医療対策事業**

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 休日、夜間に休日夜間急患診療所で小児科を含む内科の急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に加え、インフルエンザ等が流行する時期(12月～2月)の日曜日及び祝日も二科体制での診療を行い、小児救急体制の充実を図った。
- ・ 緊急の入院や手術が必要な患者に対する二次救急医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。
- ・ 市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(9時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。
- ・ 休日昼間に歯科急患診療を行った。また、毎週木曜に障害者歯科診療を行った。
- ・ 鎌倉市内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民に係る救急医療に関し発生する損失医療費について、補助金の申請はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
168,167	168,355	166,655		1,700
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	光熱水費		6	5
12節	電信料		139	139
	外国籍市民救急医療対策費レセプト審査手数料		1	0
13節	休日夜間急患診療所業務委託料		51,516	51,145
	口腔保健センター業務委託料		23,255	21,933
	病院群輪番制業務等委託料		80,770	80,770
	単独医療機関制業務委託料		8,502	8,502
	救急電話音声自動対応業務委託料		259	259
	口腔保健センター保安警備業務委託料		817	814
14節	口腔保健センター設備賃借料		2,900	2,899
19節	外国籍市民救急医療対策費補助金		2	0
	休日夜間急患診療所施設整備事業補助金		0	189
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,740

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 5 保健衛生総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】  
健康福祉部市民健康課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	200,476	191,189
・ 2節 給料 一般職	96,132	88,228
一般職職員 27人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	70,751	70,927
扶養手当	2,003	1,630
地域手当	14,886	13,702
通勤手当	2,103	2,349
超過勤務手当	6,599	9,710
管理職手当	1,102	987
特殊勤務手当	0	14
期末勤勉手当	38,879	38,408
住居手当	3,669	2,893
管理職員特別勤務手当	0	4
児童手当	1,510	1,230
・ 4節 共済費	33,593	32,034
市町村職員共済組合負担金	33,545	31,729
社会保険料	0	285
雇用保険料	48	20

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**予防接種事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【 事業の内容 】

- ・不活化ポリオ、BCG、MR(麻しん風しん混合)、麻しん、風しん、三種混合、四種混合、二種混合、日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、高齢者肺炎球菌、B型肝炎の予防接種を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
458,269	426,789	398,028		28,761

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 予防接種健康被害調査委員会委員報酬 5人	104	22
7節 臨時的任用職員賃金	2,475	2,150
11節 消耗品費	514	319
印刷製本費	1,966	1,008
予防接種ワクチン医薬材料費	157,965	136,051
12節 予防接種事故賠償補償保険料	329	327
13節 予防接種業務等委託料	289,807	255,526
予防接種データ入力業務委託料	1,227	781
医療廃棄物処理委託料	11	0
19節 予防接種健康被害救済給付等負担金	65	0
予防接種費用自己負担金補助金	3,806	1,844

予防接種ごとの接種人数

種 別	接 種 人 数	種 別	接 種 人 数
不 活 化 ポ リ オ	延 36人	イ ン フ ル エ ン ザ	22,798人
B C G	961人	子 宮 頸 が ん	延 25人
M R	延 2,360人	ヒ ブ	延 3,872人
麻 し ん	延 0人	小 児 用 肺 炎 球 菌	延 3,868人
風 し ん	延 0人	成 人 の 風 し ん	121人
三 種 混 合	延 1人	成 人 の M R	347人
四 種 混 合	延 4,056人	水 痘	延 2,029人
二 種 混 合	1,324人	高 齢 者 肺 炎 球 菌	4,302人
日 本 脳 炎	延 6,187人	B 型 肝 炎	延 2,888人
		合 計	延 55,175人

<主な特定財源>

- ・国県支出金

970

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 10 予防費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**感染症対策事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・ 感染症等が発生しなかったため、県知事の指示による汚染された場所の消毒等を行わなかった。
- ・ 感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、冊子等を配布し、啓発に努めた。
- ・ 新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延を防止し医療機関の混乱を避けるために開設予定の発熱外来の施設維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
649	649	253		396
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	感染症対策啓発パンフレット等消耗品費	108	0	
	発熱外来光熱水費	312	253	
	発熱外来修繕料	200	0	
	感染症対策事業用医薬材料費	29	0	

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**成人保健事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進に向け、啓発を図るため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成を図り、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。また、個人及び地域で、健康づくりを継続できる環境をつくる。

【 事業の内容 】

- ・市民の健康の増進を図るため、健康教育、健康相談等を行った。
- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,573	9,573	9,072		501
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	栄養指導嘱託員報酬 2人		2,506	2,497
	保健活動嘱託員報酬 5人		5,664	5,605
7節	臨時的任用職員賃金		128	45
8節	健康教育等講師報償費		256	155
9節	栄養指導嘱託員費用弁償		205	161
	保健活動嘱託員費用弁償		20	5
11節	保健事業用消耗品費		350	335
	医薬材料費		65	48
12節	腸内細菌培養検査手数料		8	5
13節	生活習慣改善プログラム委託料		371	216
<主な特定財源>				
	・国県支出金			935



(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**母子保健事業**

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康増進を図るため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【 事業の内容 】

- ・ 母子健康手帳、すくすく手帳等の交付を行った。
- ・ 妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後健診2回の助成を行った。
- ・ 家庭訪問(新生児育児支援等)、乳幼児健診、両親教室、育児講座、健康相談等を行った。
- ・ 思春期からライフプランを考えていけるよう普及啓発を行った。
- ・ 祖父母等が子育て応援団となれるよう普及啓発を行った。
- ・ 特定不妊治療費、不育症治療費の助成を行った。
- ・ 産後ケア事業を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
177,463	170,489	151,040		19,449
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	母子保健指導嘱託員等報酬 38人		13,147	11,965
7節	臨時的任用職員賃金		2,805	2,657
8節	両親教室・育児講座講師等報償費		599	532
9節	母子保健指導嘱託員費用弁償		927	604
11節	母子健康手帳等消耗品費		1,106	955
	すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費		956	827
	備品修繕料		26	0
	医薬材料費		115	113
12節	計測器検査手数料		16	16
	医師賠償責任保険料		206	201
13節	妊産婦健診等委託料		76,183	66,253
	乳児健診(4か月児、お誕生日前)委託料		16,874	15,433
	幼児健診等委託料		11,856	11,014
	助産師派遣委託料		2,156	2,133
	健康診査等滅菌配送業務委託料		370	296
	妊産婦・新生児等訪問指導業務委託料		4,271	3,894
	産後ケア事業業務委託料		4,668	3,332
	保健師派遣業務委託料		15,281	12,561
14節	健診会場使用料		12	0
19節	妊産婦健診補助金		4,130	3,646
	乳児健診補助金		259	92
	特定不妊治療費助成金		20,000	14,468
	不育症治療費助成金		1,500	48

妊産婦健康診査

区分	受診者数		区分	受診者数	
	委託	補助金		委託	補助金
1回目	922人	8人	10回目	785人	97人
2回目	915人	7人	11回目	749人	106人
3回目	892人	9人	12回目	695人	102人
4回目	927人	14人	13回目	570人	84人
5回目	912人	23人	14回目	416人	66人
6回目	919人	20人	15回目	586人	71人
7回目	903人	31人	15回目追加	569人	29人
8回目	879人	44人	16回目	772人	122人
9回目	835人	69人	16回目追加	700人	30人
			合計	13,946人	932人

※追加:平成30年度から開始。エジンバラ産後うつ病質問票。

乳児健康診査

区分	受診者数
4か月児健康診査	956人
お誕生前健康診査	1,007人
合計	1,963人

幼児健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1,065人
2歳児歯科健康診査	916人
3歳児健康診査	1,185人
合計	3,166人

乳幼児精密健康診査

区分	受診者数
1歳6か月児健康診査	2人
3歳児健康診査	25人
合計	27人

特定不妊治療費・不育症治療費助成金

区分	実数	延べ数
特定不妊治療費助成金	114件	156件
不育症治療費助成金	1件	1件

産後ケア事業

実人数	延日数		
	宿泊	通所	訪問
51人	130日	6日	69日

<主な特定財源>

・国県支出金

16,798

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**成人健康診査事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止、結核の早期発見・治療のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。結核を予防し、まん延を防ぐ。

【 事業の内容 】

- ・結核検診として、肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)
- ・若年期からの生活習慣病予防のため、20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・40歳の方に無料で肝炎検診を実施した。(無料クーポン券検診)
- ・40歳以上で今まで鎌倉市の肝炎検診を受診していない希望者(無料クーポン券検診に該当しない方)に肝炎検診を実施した。
- ・20歳～36歳の方に4歳刻みで、40歳～70歳の方に10歳刻みで歯周病検診を実施した。(問診、口腔内検査)
- ・後期高齢者医療保険の被保険者に後期高齢者健診、40歳以上の生活保護受給者に生活保護受給者健診を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
125,281	130,577	122,360		8,217
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		9	8
	印刷製本費		301	292
13節	無料クーポン券肝炎検診委託料		4,149	1,976
	結核検診委託料		2,499	1,180
	歯周病検診委託料		1,543	1,065
	キット健診委託料		1,523	617
	肝炎検診委託料		731	218
	後期高齢者健診委託料		113,472	115,923
	生活保護受給者健診委託料		1,054	1,081

後期高齢者健診(早期移行者・生活保護受給者健診を含む)

受診者数	異常なし	要指導	要指導+要医療	要医療
11,046人	2,033人	5,425人	2,323人	1,265人

無料クーポン券 肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C型	316人	316人	-	0人
B型	316人	316人	0人	-

結核検診

区分	受診者数	要精検者数	要医療			
			異常なし	他疾患	未受診	要医療
胸部X線直接撮影	195人	0人	0人	0人	0人	0人

歯周疾患検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区分	受診者数	要医療		
		異常なし	要観察	要医療
口腔内検査	226人	6人	36人	184人

キット健診(20歳代、30歳代)※国保加入者含む。

区分	受診者数	要医療				判定不可
		基準値	軽度異常値	高度異常値	要医療	
血液検査	307人	61人	85人	103人	48人	10人

肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルスの可能性が高い
C型	42人	41人	-	1人
B型	42人	42人	0人	-

<主な特定財源>

・国県支出金

4,242

**がん検診事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

【 事業の内容 】

- ・ 大腸がん、肺がん、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳房健康指導(20歳～38歳の偶数年齢の女性)、乳房X線撮影(40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。
- ・ がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
411,874	375,603	310,849		64,754
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
7節	臨時的任用職員賃金	1,650	925	
11節	消耗品費	41	15	
	印刷製本費	1,193	1,155	
12節	がん精密検査受診結果文書作成手数料	1,618	1,168	
13節	肺がん検診委託料	147,022	121,738	
	大腸がん検診委託料	83,550	66,809	
	胃がんリスク検診等委託料	38,042	15,978	
	子宮頸がん検診委託料	48,841	39,303	
	乳がん個別検診委託料	34,873	26,007	
	乳がん集団検診委託料	2,068	506	
	前立腺がん検診委託料	32,018	22,130	
	健診結果データ集約等業務委託料	7,568	5,975	
	健診結果データ入力業務委託料	3,420	2,652	
	集団検診事務一括業務委託料	1,496	1,451	
	無料クーポン券検診(子宮頸がん、乳がん)委託料	4,862	2,382	
	無料クーポン券検診発送業務委託料	1,802	1,675	
	無料クーポン券検診結果データ集約等業務委託料	99	50	
	検診統計処理事務派遣職員人件費	1,711	930	

大腸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
便	潜血検査	18,927人	1,482人	33人

肺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影		20,515人	503人	17人

胃がんリスク検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		2,916人	1,109人	9人

子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		4,695人	54人	1人

乳房健康指導

区	分	受診者数
乳房健康指導		191人

乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		4,515人	194人	14人

乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		111人	9人	0人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診		31人	1人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		230人	17人	0人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影		30人	1人	0人

前立腺がん検診

区	分	受診者数	要精密検査	がん発見者数
血液検査		4,307人	632人	36人

<主な特定財源>

・国県支出金

4,494

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

健康情報システム構築・運用事業

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野 健康福祉  
施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【 事業の内容 】

- ・受診券発送から総合判定結果までのシステムの運用により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,423	21,423	21,333		90

<支出内訳>

13節 健康診査データ管理等一括業務委託料

当初予算額

21,423

支出済額

21,333

(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**食育事業**

【 市民健康課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち  
 分野 健康福祉  
 施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携を図りながら地域での食育を推進した。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が交流する場を提供し、全市的な食育の推進に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,135	1,135	714		421
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市食育推進会議委員報酬 10人		224	120
8節	かまくら食育カレッジ講師報償費		120	90
	食育ボランティア協力者等報償費		130	90
9節	鎌倉市食育推進会議委員費用弁償		4	2
11節	消耗品費		192	140
	印刷製本費		378	194
13節	地域食育推進事業委託料		87	78



(款) 20 衛生費 (項) 5 保健衛生費 (目) 15 健康管理費

◎健康福祉 ○市民の健康と安心づくりの推進

**ICT活用健康づくり事業**

【 市民健康課 】

※重点事業(事業CD:4-1-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 健康福祉

施策の方針 市民の健康と安心づくりの推進

【 事業の目的 】

対象 市民、市内企業等

意図 健康アプリ等を活用し、市民等の健康の維持増進を図るため。

効果 市民等の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【 事業の内容 】

- ・健康づくりに関するポイント制度の管理・運用をし、市民の健康づくりを推進した。
- ・市内の企業等と、健康づくりを推進するための連携方法を検討した。
- ・健康経営の推進を図るため、市内企業等を対象としたセミナーを開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,630	8,630	7,896		734
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	健康経営等セミナー等講師謝礼		234	0
11節	消耗品費		60	54
13節	システム運用等委託料		7,800	7,788
	健康経営普及啓発資料作成委託料		486	0
14節	会場使用料		50	54
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,771

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**環境運営事業**

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるための基金を積み立てた。
- ・ 清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
204,182	199,382	190,854		8,528
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,022
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	13
11節	消耗品費		210	208
19節	全国都市清掃会議等負担金		171	171
25節	一般廃棄物処理施設建設基金新規積立金		200,396	188,439
	一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金		202	102
	一般廃棄物処理施設建設基金寄附積立金		2,000	899

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**廃棄物処理施設のマネジメント事業**

【 環境施設課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉・深沢クリーンセンター、笹田リサイクルセンター、最終処分場等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会において、効率的、効果的で環境への負荷の少ない安全な施設整備に向けた調査、審議を行った。
- ・ごみ処理を安定的に実行していくために、鎌倉市一般廃棄物処理基本計画を基に、名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター、笹田リサイクルセンター、深沢クリーンセンター等の廃棄物処理施設について、必要な整備を進めた。
- ・最終処分場の廃止に向けて、必要な整備を進めた。
- ・今泉クリーンセンター煙突解体工事については、前年度からの通次繰越分を含めて実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
256,024	388,302	334,430		53,872
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	生活環境整備審議会委員報酬 6人		186	212
9節	生活環境整備審議会委員費用弁償		1	1
	普通旅費		353	322
11節	名越クリーンセンター各種制御盤修繕料		26,784	25,531
13節	最終処分場境界杭復元業務委託料		0	450
	高額資材等の価格調査に関する業務委託料		0	37
15節	最終処分場復元工事請負費		139,083	70,277
	今泉クリーンセンター煙突解体工事請負費(継続事業・30年度分 前年度からの通次繰越含む)		89,617	237,600
<主な特定財源>				
	・地方債			232,800

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 5 清掃総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量対策課・環境施設課・環境センター

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,044,418	983,753
・ 2節 給料 一般職	465,946	444,380
一般職職員 108人		
短時間勤務職員 6人		
・ 3節 職員手当等	402,114	371,124
扶養手当	16,100	14,796
地域手当	73,725	70,358
通勤手当	12,590	11,628
超過勤務手当	37,352	33,126
休日給	35,903	25,044
管理職手当	9,442	9,442
特殊勤務手当	426	237
期末勤勉手当	198,445	190,761
住居手当	14,166	12,222
管理職員特別勤務手当	0	5
児童手当	3,965	3,505
・ 4節 共済費	176,358	168,249
市町村職員共済組合負担金	172,593	165,257
社会保険料	2,946	2,221
雇用保険料	819	771

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**名越クリーンセンター管理運営事業**

【 環境施設課・環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
440,786	428,766	417,361		11,405
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	薬剤等消耗品費		40,552	32,888
	施設燃料費		4,604	4,940
	電気料		90,469	84,261
	水道料等		40,396	33,480
	焼却設備等修繕料		77,047	76,930
	クレーン修繕料		12,199	12,174
	破碎機修繕料		10,454	10,368
	空気圧縮機修繕料		4,946	4,943
	排ガス分析計修繕料		3,198	3,198
	トラックスケールデータ処理装置修繕料		1,917	1,917
	その他修繕料		6,000	5,731
	医薬材料費		40	40
12節	電信料		572	407
	電気工作物定期点検手数料		795	795
	ダイオキシン類調査手数料		664	496
	ごみ質検査手数料		648	500
	排ガス検査等手数料		1,154	939
13節	焼却施設維持管理業務委託料		116,640	116,640
	プラットホームごみ受入れ等業務委託料		15,941	15,941
	環境調査業務委託料		3,623	3,616
	精密機能検査業務委託料		1,908	1,458
	クレーン点検業務委託料		854	853
	作業環境調査業務委託料		677	407
	警備業務委託料		463	463
	洗車排水汚水槽清掃業務委託料		411	410
	冷暖房機器点検業務委託料		265	265
	清掃業務委託料		167	162

	受水槽清掃点検業務委託料	101	81
	樹木剪定業務委託料	111	86
	不快害虫駆除等業務委託料	149	149
14節	用地借料	1,487	1,130
	コピー機賃借料等	282	226
16節	施設補修用原材料費	760	257
27節	汚染負荷量賦課金	1,292	1,210

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・今泉クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。
- ・市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための粗大ごみ処理施設、中継施設等の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
96,445	94,667	90,978		3,689
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業嘱託員報酬 4人		5,340	5,340
9節	場内作業嘱託員費用弁償		576	285
11節	施設維持等消耗品費		5,400	5,400
	施設燃料費		1,411	845
	電気料		12,300	11,215
	水道料		1,094	750
	クレーン補修等修繕料		15,028	11,294
	破砕機チェーンブロック修繕料		0	998
	プラットホーム照明器具交換等修繕料		0	1,819
	トラックスケールデータ処理装置修繕料		4,066	4,066
	その他修繕料		3,500	3,449
	備品修繕料		6	143
	医薬材料費		22	22
12節	電信料		430	314
	水質検査手数料		564	435
	自家用電気工作物定期点検等手数料		693	538
13節	脱臭設備等保守点検業務委託料		7,344	6,223
	排水処理施設各槽清掃業務委託料		468	468
	警備業務委託料		463	463
	ボイラー清掃点検委託料		184	184
	清掃業務委託料		178	162
	搬出施設運転委託料		33,567	33,178
	危険樹木伐採等委託料		475	410
	精密機能検査業務委託料		1,328	1,101
	重油地下タンク点検業務等委託料		462	444
14節	トラックスケール賃借料		473	472
	コピー機賃借料等		254	202

16節	施設補修用原材料費	540	517
19節	第1種電気工事士定期講習会等負担金	25	18
27節	汚染負荷量賦課金	254	223



(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**名越クリーンセンター収集事業**

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,961	19,561	17,474		2,087
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業等嘱託員報酬 4人		5,340	5,339
9節	場内作業等嘱託員費用弁償		576	428
11節	収集作業用等消耗品費		1,133	1,133
	収集車両等燃料費		4,023	3,134
	印刷製本費		99	98
	事務所小破修繕料		50	0
	備品修繕料		4	0
	収集車両修繕料		8,300	6,931
16節	作業用原材料費		145	129
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		8	7
22節	過少収納時補てん金		1	0
27節	自動車重量税		282	275

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,629	21,287	20,114		1,173
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	場内作業嘱託員報酬 8人		10,680	10,679
9節	場内作業嘱託員費用弁償		918	596
11節	収集作業用等消耗品費		807	807
	収集車両等燃料費		1,696	1,322
	印刷製本費		91	91
	事務所小破修繕料		5	0
	備品修繕料		5	0
	収集車両修繕料		3,482	3,451
12節	自賠責保険料		12	11
18節	車両購入費		2,668	2,884
19節	安全運転管理者法定講習会等負担金		8	7
22節	過少収納時補てん金		1	0
27節	自動車重量税		256	266

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**ごみ収集事業** 【 **ごみ減量対策課** 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【 事業の内容 】

- ・資源物やごみについて収集・運搬を民間委託により実施した。
- ・家庭系ごみの有料化によりごみの減量を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
644,883	642,352	634,703		7,649
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 4人		4,234	4,087
9節	事務補助嘱託員費用弁償		576	250
11節	消耗品費		386	371
12節	運搬料		1,173	1,074
13節	カン・ビン収集及びコンテナ配布業務委託料		126,870	126,870
	燃やすごみ・ペットボトル収集運搬業務委託料		223,170	222,289
	植木剪定材収集運搬業務委託料		51,066	50,353
	不燃ごみ収集運搬業務委託料		32,884	32,884
	容器包装プラスチック収集運搬業務委託料		75,469	75,469
	家庭系製品プラスチック収集運搬業務委託料		14,415	14,400
	軽車両地区収集運搬業務委託料		11,050	10,231
	一般廃棄物指定収集袋作成業務委託料		54,486	51,226
	一般廃棄物指定収集袋保管配送・受注収納業務委託料		14,370	14,612
	一般廃棄物処理手数料徴収業務委託料		25,614	24,166
	燃やすごみ組成調査業務委託料		5,966	3,434
	燃やすごみ組成調査用収集運搬業務委託料		499	276
	一般廃棄物指定収集袋封入・梱包業務委託料		121	190
	周知看板作成委託料		810	797
14節	クリーンステーション管理システム賃借料		1,724	1,724

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**最終処分事業**

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【 事業の内容 】

- ・ 焼却残さ全量を溶融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を推進した。
- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
205,448	190,448	182,419		8,029
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	最終処分場地下水水質検査協力謝礼		48	48
9節	普通旅費		98	94
11節	消耗品費		160	159
	燃料費		4	0
	光熱水費		82	51
	最終処分場集水設備等維持修繕料		487	382
12節	最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料		1,296	756
	最終処分場定期水質検査業務手数料		273	122
13節	焼却残さ溶融固化処理業務委託料		165,890	147,980
	ごみ焼却残さ中の金属等の測定業務委託料		247	184
	最終処分場保有水等運搬処理委託料		480	119
	一般廃棄物最終処分場観測井戸設置業務委託料		5,638	1,633
	最終処分場地下集水槽作業環境調査業務委託料		0	99
	地下集水管調査業務委託料		0	99
	地下集水管調査業務委託料(5号地)		0	99
16節	最終処分場原材料費		26	0
19節	環境保全協力金		570	446
	廃棄物処理施設技術管理士研修負担金		119	119
22節	最終処分場用地等営農損失補償金		30,030	30,029

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**新焼却施設整備事業**

【 環境施設課 】

※重点事業(事業CD:3-3-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 処理施設の整備を行うため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

- ・「将来のごみ処理体制についての方針」において、新焼却施設を建設せずに、ゼロ・ウェイストを目指してごみの減量・資源化を進める方向に方針転換することとした。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,650	4,650	0		4,650

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
9節	焼却施設視察旅費	234	0
13節	新焼却施設に係る周辺住民説明用資料作成業務委託料	4,310	0
14節	焼却施設視察車両使用料	106	0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

ごみ処理広域化計画推進事業

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・今後のごみ処理体制の検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50	50	0		50

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
11節 鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会消耗品費	50	0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**笛田リサイクルセンター管理運営事業**

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【 事業の内容 】

・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
164,454	163,719	156,879		6,840
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	資源物収集コンテナ等消耗品費		3,589	3,569
	燃料費		85	62
	電気料		8,831	7,624
	都市ガス料		5,013	4,464
	水道料		2,042	2,070
	中央監視装置制御盤コントローラ交換修繕料		14,418	14,418
	コンテナ搬送選別装置修繕料		4,347	4,104
	吸収冷温水機チューブ薬品洗浄修繕料		3,521	3,132
	紙圧縮梱包機修繕料		3,383	3,322
	コンテナ洗浄装置修繕料		3,286	3,282
	金属圧縮機修繕料		2,872	2,856
	自動選別装置修繕料		1,884	1,883
	その他修繕料		3,000	2,861
	車両修繕料		763	738
	医薬材料費		5	4
12節	電信料		200	151
	エレベーター定期点検等手数料		1,256	1,256
13節	資源物選別処理等業務委託料		57,672	56,506
	運転保守管理等業務委託料		27,216	27,216
	選別設備保守点検業務委託料		4,212	4,212
	空気調和設備保守点検業務委託料		3,785	2,672
	再生利用施設啓発業務委託料		3,700	3,700
	清掃業務委託料		2,319	1,819
	脱臭設備等保守点検業務委託料		1,855	1,120
	精密機能検査委託料		1,848	1,220
	植栽管理業務委託料		1,091	396
	自動倉庫保守点検業務委託料		832	832
	警備業務委託料		463	463

	屋上植栽管理業務委託料	362	360
	作業環境調査委託料	254	246
	複写機保守点検業務等委託料	173	159
14節	AED等賃借料	127	127
16節	選別棟維持管理部材用原材料費	50	35



(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**ごみ資源化事業**

【  ごみ減量対策課  】

※重点事業(事業CD:3-3-1-8)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【  事業の目的  】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【  事業の内容  】

- ・資源物やごみを品目別に分別し資源化を図った。
- ・今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入検査機により搬入物検査を実施するとともに、事業系ごみの廃棄物発生抑制等啓発指導員を雇用し、事業者訪問等による適正排出の指導を行うことで分別徹底を図った。
- ・市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで運搬し、委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【  事業費  】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
738,614	734,114	685,536		48,578
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	廃棄物検査・指導員報酬 4人		8,064	8,064
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,059
	廃棄物発生抑制等啓発指導員報酬 7人		7,497	6,830
8節	植木剪定材堆肥化事業指導協力者報奨金		1,549	1,549
9節	廃棄物検査・指導員費用弁償		1,008	802
	事務補助嘱託員費用弁償		144	70
	廃棄物発生抑制等啓発指導員費用弁償		1,428	1,313
	普通旅費		85	77
11節	ごみ散乱防止ネット等消耗品費		1,256	1,181
	燃料費		175	144
	印刷製本費		1,533	1,153
	光熱水費		369	361
	植木剪定材受入事業場維持修繕料		500	765
	自走式コンベアごみ投入検査機維持修繕料		108	0
	坂ノ下積替所維持修繕料		500	850
12節	電信料		184	36
	坂ノ下積替所トラックスケール定期検査料		292	292
13節	容器包装プラスチック中間処理業務委託料		112,763	113,607
	容器包装プラスチック等再商品化業務委託料		2,088	2,272
	ペットボトル中間処理業務委託料		27,370	29,543
	植木剪定材堆肥化等業務委託料		162,668	138,861
	紙類・布類収集運搬処理売却業務委託料		181,179	181,179
	不燃ごみ等資源化処理業務委託料(名越)		35,100	30,240
	不燃ごみ資源化処理業務及び鉄屑類等運搬売却業務委託料(今泉)		19,558	17,566

	不燃ごみ資源化処理業務委託料(不燃残さ溶融固化処理)	24,968	38,118
	鉄屑類等運搬売却及び持込みごみ搬送業務委託料(名越)	12,076	9,648
	廃乾電池及び廃蛍光管資源化処理業務委託料	5,816	4,680
	木くず資源化処理業務委託料	12,474	12,448
	布団運搬資源化処理業務委託料	4,259	3,584
	昼運搬資源化処理業務委託料	3,931	2,299
	粗大ごみ処理手数料収納等事務委託料	1,568	1,972
	フロンガス破壊処理等業務委託料	76	76
	自走式コンベアごみ投入検査機保守管理業務委託料	438	438
	製品プラスチック資源化処理業務委託料	17,582	11,684
	一般廃棄物(可燃ごみ)搬送業務委託料	66,226	44,792
	使用済小型電子機器資源化業務委託料	2,009	1,846
	ビニール袋残さRPF化業務委託料	5,103	4,626
	新規資源化業務委託料(可燃残さ等)	13,738	10,045
	非飛散性アスベスト含有物処分業務委託料	162	50
14節	車両賃借料	1,244	1,127
	電子複写機等賃借料	417	289
22節	休車補償料	50	0

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○3Rの推進・ごみの適正処理

**3R推進事業**

【  ごみ減量対策課  】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 3Rの推進・ごみの適正処理

【  事業の目的  】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【  事業の内容  】

- ・ 廃棄物の減量・資源化に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、必要な事項についての調査、審議を行った。
- ・ 廃棄物減量化等推進員を対象にした会合等を実施した。
- ・ ごみの発生抑制及び減量・資源化に協力する自治会・町内会に対して、3R推進事業奨励金を交付した。
- ・ 一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、説明会の開催、環境教育、ごみダイエット展、キャンペーン等を実施した。
- ・ 事業所向けの啓発事業として、説明会の実施、パンフレットの配布、訪問指導等を行った。
- ・ 本庁舎及び小学校等に設置した大型生ごみ処理機により、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 家庭用生ごみ処理機に係る助成制度と直販制度を実施し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。

【  事業費  】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,202	39,202	29,578		9,624
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	3,131
	廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 9人		552	122
8節	3R推進事業奨励金		5,400	4,633
	廃棄物減量化等推進員会合等講師謝礼		100	0
	廃棄物減量化等推進員謝礼		1,150	935
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		461	122
11節	啓発用等消耗品費		1,313	964
	生ごみ処理機購入消耗品費		3,102	847
	印刷製本費		1,927	1,235
	光熱水費		225	195
	大型生ごみ処理機維持修繕料		490	273
13節	減量・資源化啓発業務委託料		929	453
	大型生ごみ処理機保守管理業務委託料		1,983	1,983
	ホームページ管理運営業務委託料		60	60
	啓発資料作成委託料		5,253	4,307
14節	大型生ごみ処理機賃借料		1,219	1,218
19節	不用品登録協働事業費負担金		790	790
	リユース食器利用費補助金		500	176
	生ごみ処理機購入費補助金		13,572	8,008

事業系大型生ごみ処理機購入費等補助金

2,000

126

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 10 じん芥処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

**ダイオキシン類削減対策施設整備事業**

【 環境施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 名越クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【 事業の内容 】

・名越クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,895	2,317	2,316		1

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
13節 名越クリーンセンター周辺土壌・大気環境調査業務委託料		2,895	2,316

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

**深沢クリーンセンター管理運営事業**

【 環境センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿及び浄化槽汚泥の処理に係る施設の運転及び維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,339	25,216	23,784		1,432
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	薬剤等消耗品費		2,266	1,813
	燃料費		154	97
	電気料		5,608	4,544
	水道料		2,878	2,208
	No. 2破砕ポンプ部分取替修繕料		4,867	4,867
	その他修繕料		4,036	4,033
	備品修繕料		18	0
	車両修繕料		433	392
12節	電信料		128	109
	電気工作物定期点検等手数料		626	626
13節	脱臭設備等保守点検業務委託料		4,385	3,446
	警備業務委託料		351	351
	産業廃棄物処分業務委託料		161	161
	オーバースライダー定期点検業務等委託料		124	124
14節	複合機賃借料等		172	167
16節	施設維持管理用原材料費		139	138
19節	下水道負担金		941	657
27節	自動車重量税		52	51

(款) 20 衛生費 (項) 10 清掃費 (目) 15 し尿処理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

し尿収集事業

【 　　ごみ減量対策課　　】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【 事業の内容 】

・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,046	23,046	19,286		3,760
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,029
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	40
11節	印刷製本費		168	137
13節	し尿収集運搬及び手数料徴収業務委託料		21,675	18,080

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

**公害等対策事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【 事業の内容 】

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。
- ・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。
- ・「水道法」及び「小規模水道及び小規模受水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,444	10,403	8,962		1,441
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,029
8節	講師等謝礼		10	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		15	14
11節	消耗品費		644	594
	環境保全啓発小冊子等印刷製本費		79	78
	備品修繕料		16	0
12節	電信料		34	30
	飲料水水質検査等手数料		337	37
13節	深夜花火防止巡回警備業務委託料		944	832
	自動車排出ガス等環境調査業務委託料		2,588	3,121
	有害大気汚染物質分析業務委託料		395	395
	河川水質調査業務委託料		499	483
	大気中二酸化窒素濃度調査試料分析業務委託料		318	318
	自動車騒音常時監視業務委託料		2,084	2,031
19節	合併処理浄化槽設置補助金		422	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			271



(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○まちの美化

**まちの美化推進事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 まちの美化

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 清潔で美しいまちの形成が推進される。

【 事業の内容 】

- ・不法投棄防止の啓発や巡回業務を実施した。
- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。
- ・公衆トイレ(40箇所)の日常清掃業務等を実施した。
- ・いわゆるごみ屋敷の不良な状態の解消を図るための支援及び措置を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,464	75,527	68,031		7,496
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	まち美化推進協議会委員報酬 10人		204	164
	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,037
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員報酬 6人		216	176
8節	まち美化清掃活動奨励金		1,342	1,293
	まち美化推進員等報償費		310	266
	シンポジウム講師謝礼		30	30
	いわゆるごみ屋敷対策協力謝礼等		175	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		15	14
	いわゆるごみ屋敷対策審議会委員費用弁償		42	3
11節	清掃用具等消耗品費		942	942
	印刷製本費		6	0
	公衆トイレ電気料		1,600	1,103
	公衆トイレ水道料		16,195	13,285
	公衆トイレ維持修繕料		3,589	3,586
12節	電信料		193	101
	不法投棄物(家電リサイクル法適用分)処理手数料		152	64
13節	不法投棄物処理委託料		188	250
	啓発用路面シート作成業務委託料		454	448
	路上喫煙禁止区域内喫煙場所灰皿清掃業務委託料		980	980
	クリーンアップごみ回収処理業務委託料		242	84

	公衆トイレ清掃業務委託料 40箇所	29,968	28,858
	多目的トイレ清掃業務委託料(オストメイト)	1,648	1,604
	鎌倉駅東口トイレ清掃業務委託料	2,851	2,846
	年末年始特別トイレ清掃業務委託料	161	161
	年末年始特別多目的トイレ清掃業務委託料(オストメイト)	9	9
	公衆トイレ清掃品質巡回点検業務委託料	3,119	3,119
	公衆トイレ汚水槽点検等業務委託料	497	497
	公衆トイレ浚渫土砂処分業務委託料	50	84
	鎌倉駅西口広場周辺清掃業務委託料	470	470
	路上喫煙防止業務委託料	4,781	4,714
	いわゆるごみ屋敷対策行政代執行業務委託料	1,707	0
	いわゆるごみ屋敷対策排出支援業務委託料	1,706	0
	不法投棄物運搬業務委託料	32	32
	海水浴場ごみ箱周辺収集運搬業務委託料	0	333
	クリーンステーション等投棄ごみ収集運搬業務委託料	0	391
	回収ごみ等運搬等業務委託料	0	162
	回収ごみ処理業務委託料	0	488
19節	落書きのないまちづくり事業負担金	150	150
	公衆トイレ電気料負担金	380	287
22節	過少収納時補てん金	1	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

**環境基本計画等推進事業**

【 環境政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 次代に向けたエネルギー・環境対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を始めとする環境関連の計画を推進し、持続可能な社会の構築を目指すため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境にやさしい環境保全活動や再生可能エネルギーの導入、効率的な利用に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させ、将来にわたって循環型の持続可能な社会が実現する。

【 事業の内容 】

- ・「鎌倉市環境基本計画」を推進するため、鎌倉市環境審議会において、各施策の進捗状況に関する点検・評価を行い、計画に対する進行管理を図った。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、環境マネジメントシステムや環境教育の推進、緑のカーテン設置など環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例に基づき、鎌倉市エネルギー計画を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,698	19,054	18,370		684
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,036
	環境審議会委員報酬 9人		488	328
8節	環境教育アドバイザー等講師謝礼		750	546
	専門家アドバイザー等謝礼		276	137
9節	事務補助嘱託員等費用弁償		214	147
11節	消耗品費		379	379
	印刷製本費		203	203
	急速充電器維持修繕料		248	158
13節	不要紙類回収運搬業務委託料		2,511	1,610
	歌碑維持管理業務委託料		1	0
	地域エネルギー推進業務委託料		1,296	0
	環境教育事業委託料		151	152
	急速充電器保守点検業務委託料		117	68
	カーボン・マネジメント強化事業業務委託料		9,990	9,591
19節	横浜グリーン購入ネットワーク負担金		15	15
	住宅用再生可能エネルギー・省エネ機器等設置費補助金		4,000	4,000

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

**海岸清掃事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【 事業の内容 】

- ・海水浴場開設期間中のごみ箱清掃業務を委託した。
- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,074	22,115	21,615		500
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	海岸清掃業務委託料		6,014	4,555
19節	公益財団法人かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金		17,060	17,060
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,684

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 5 環境対策管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

環境部のうち環境政策課(環境政策エネルギー担当)・環境保全課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	142,019	134,229
・ 2節 給料 一般職	65,197	61,782
一般職職員 15人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	52,484	49,982
扶養手当	3,356	3,687
地域手当	10,432	9,975
通勤手当	1,812	1,430
超過勤務手当	3,540	2,928
休日給	0	67
管理職手当	987	987
特殊勤務手当	61	7
期末勤勉手当	28,651	27,814
住居手当	2,265	1,967
児童手当	1,380	1,120
・ 4節 共済費	24,338	22,465
市町村職員共済組合負担金	22,355	21,663
社会保険料	1,935	778
雇用保険料	48	24

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○環境汚染の防止

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
分野 生活環境  
施策の方針 環境汚染の防止

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【 事業の内容 】

・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,190	12,994	12,778		216
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	臨時的任用職員賃金		1,217	1,214
11節	害虫駆除用薬剤等消耗品費		2,305	2,292
	車両等燃料費		190	136
	備品修繕料		76	75
	車両修繕料		563	422
13節	スズメバチの巣の駆除業務委託料		9,793	8,596
16節	機材補修用原材料費		10	8
27節	自動車重量税		36	35

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○野生鳥獣等への対応

**動物愛護推進事業**

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 犬・猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録推進について、広報かまくら等で周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を勧奨し、飼い主のいない猫の増殖の防止を図った。
- ・ 飼育する犬及び猫にマイクロチップを装着することにより、盗難、迷子、災害発生時等に逸走した場合に飼い主のもとへ早期返還を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレート配布などにより、啓発を行うとともに、関係団体と連携し、マナー向上のための取組を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,205	7,205	5,650		1,555
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	2,528
7節	臨時的任用職員賃金		616	607
8節	集合注射会場協力者等謝礼		6	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		358	147
11節	犬の登録事務等消耗品費		489	465
	狂犬病予防集合注射用車両燃料費		7	4
	印刷製本費		27	27
12節	狂犬病予防集合注射用車両保険料		50	0
13節	犬の登録・注射促進協力等業務委託料		889	712
	飼い猫に対する避妊・去勢手術事務委託料		49	33
	犬の登録等管理システム保守委託料		54	54
14節	狂犬病予防集合注射用車両賃借料		133	91
19節	湘南獣医師会補助金		150	150
	飼い猫に対する避妊・去勢手術補助金		600	593
	飼い主のいない猫対策事業補助金		450	152
	マイクロチップ装着事業補助金		150	87
22節	過少収納時補てん金		1	0

(款) 20 衛生費 (項) 15 環境対策費 (目) 10 環境衛生費

◎生活環境 ○野生鳥獣等への対応

**鳥獣保護管理対策事業** 【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち  
 分野 生活環境  
 施策の方針 野生鳥獣等への対応

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【 事業の内容 】

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣の捕獲及び県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,852	11,080	10,153		927
<b>&lt;支出内訳&gt;</b>				
			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,036
9節	事務補助嘱託員費用弁償		144	55
11節	現場作業等消耗品費		323	318
13節	有害鳥獣駆除等業務委託料		7,326	8,744
<b>&lt;主な特定財源&gt;</b>				
	・国県支出金			2,700